アニメアルバム

セーラームーンのすべて

- 美少女戦士セーラームーンⅠ……定価1200円
- 美少女戦士セーラームーンⅡ……定価1200円
- 美少女戦士セーラームーンR……定価1300円
- 美少女戦士セーラームーンSⅠ……定価1200円
- 映画・美少女戦士セーラームーンRメモリアルアルバム 定価980円

アニメブックス

- 美少女戦士セーラームーン<全10巻>……定価各600円
- 美少女戦士セーラームーンR 1～8……定価各600円（以下続刊）
- 映画・美少女戦士セーラームーンR……定価850円

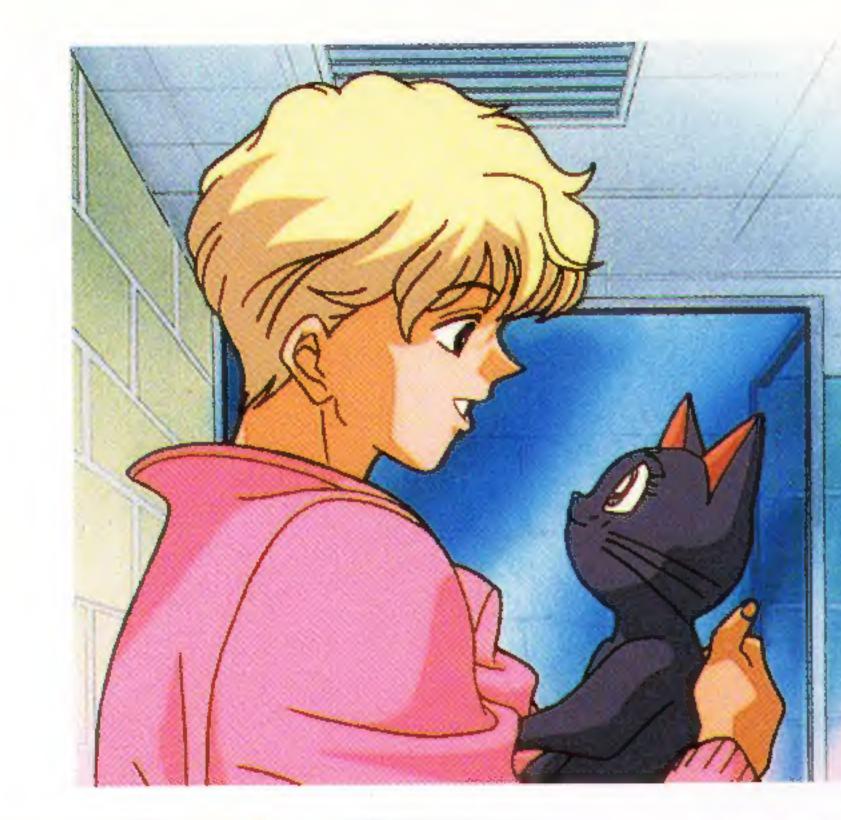
ゲームブックス

- スーパーファミコン 美少女戦士セーラームーン…………定価780円
- スーパーファミコン 美少女戦士セーラームーンR………定価780円

KCなかよし・KCるんるん

武内直子シリーズ

- チョコレートクリスマス……………定価390円
- ま・り・あ……………………………定価390円
- Theチェリー・プロジェクト〈全3巻〉…定価各390円
- ミス・レイン…………………………定価390円
- プリズムタイム①……………………定価390円
- 美少女戦士セーラームーン①～⑪……定価各390円（以下続刊）
- コードネームはセーラーV①～②………定価各390円（以下続刊）

PRETTY SOLDIER
SAILORMOON S
THE MOVIE

講談社　定価980円(本体951円)

雑誌65161-13　T1065161130989　製品324563-2(0)

なかよしメディアブックス⑬

なかよし編集部・編

映画 美少女戦士セーラームーンS メモリアルアルバム

みんな元気～!!　月野うさぎでぇす。驚いちゃダメだよ。
じつは、ルナったら、宇宙翔っていう人を好きになっちゃったの。
でも、翔さんには、ほかに好きな人がいるみたいだし、
宇宙からプリンセス・スノー・カグヤっていう、
とんでもなく強い悪者がやってきちゃうし、もうタイヘンなのよ。
あったかくって、ちょっぴり悲しいルナのラブ・ストーリーと
あたしたちの活躍、じっくり楽しんでね。

NMB NAKAYOSI MEDIA BOOKS なかよしメディアブックス⑬

なかよし編集部・編

映画 美少女戦士セーラームーンS

メモリアルアルバム

なかよしメディアブックス⑬ 映画 美少女戦士セーラームーンSメモリアルアルバム 講談社

なかよしアニメアルバム

PRETTY SOLDIER
SAILORMOON S
THE MOVIE

映画
美少女戦士
セーラームーンS
スーパー
メモリアルアルバム

戦士
セル原画／東映動画

今回の映画版の主役はルナ！ だけど，ちゃ〜んとセーラーチームの見せ場もありました。
ここではオープニングを中心に，彼女たちの素敵な日常をたっぷりお見せしましょう。
素顔のセーラー戦士
セル原画／東映動画

今回の映画版の主役はルナ！　だけど，ちゃ〜んとセーラーチームの見せ場もありました。
ここではオープニングを中心に，彼女たちの素敵な日常をたっぷりお見せしましょう。
素顔のセーラー

Pretty Soldiers in HOLIDAY

OCCULT HOUSE

試験勉強の息抜きに,セーラーチームは,みんなそろって街へ遊びにいった。最初に入ったお店は，レイの得意分野！おまじないなどの道具を売っている，オカルトショップだ。ちびうさが,うさぎの顔が描かれたワラ人形を動かすと，うさぎのからだも同様に動いちゃう。これは，ワラ人形のふしぎな力？

今回の映画でレイは，ルナが行方不明になった理由について,うさぎと言い争って，例によってマンザイみたいな大ゲンカを展開。楽しい場面だった。

Pretty Soldiers in HOLIDAY
(プリテイ ソルジャーズ イン ホリデー)

Rei in OCCULT HOUSE
(レイ イン オカルト ハウス)

試験勉強の息抜きに，セーラーチームは，みんなそろって街へ遊びにいった。最初に入ったお店は，レイの得意分野！ おまじないなどの道具を売っている，オカルトショップだ。ちびうさが，うさぎの顔が描かれたワラ人形を動かすと，うさぎのからだも同様に動いちゃう。これは，ワラ人形のふしぎな力？

今回の映画でレイは，ルナが行方不明になった理由について，うさぎと言い争って，例によってマンザイみたいな大ゲンカを展開。楽しい場面だった。

Rei
レイ
in
イン

Minako in BOUTIQUE

美奈子は，ブティックでいろいろな洋服を試着。最初はスポーティなファッションで，次は乙女チック，最後はハデハデのオバサマ風！　明るい彼女らしいオチャメだけど，エリマキにされたアルテミスが，ちょっとかわいそう。今回の映画で彼女は，恋に悩む相棒のアルテミスに気をつかっていたのが印象的。

Ami in BOOK STORE

うさぎや美奈子たちが，本屋でマンガや雑誌を立ち読みしているとき，勉強好きの亜美は，参考書を山ほど買いこんでいた。いつものこととはいえ，あまりの亜美のマジメさにガックリする，うさぎたち。でも，今回の映画では，彼女としては珍しく，「いつかはステキな恋をしてみたい」と，恋に憧れる，少女らしい部分をみせる場面もあった。

マコト
Makoto
イン　ゲーム　センター
in GAME CENTER
0
K.O Punch
35
K.O Punch

Makoto in GAME CENTER

次にみんなが行ったのは，ゲームセンター。ちびうさと，おしとやかな亜美をのぞいた４人は，パンチ力を計るパンチングボールに挑戦した。うさぎは35点，レイは80点，美奈子は65点。そして，まことは軽くただいたのに100点！　さすが，セーラー戦士のパワーNO.1だ。今回の映画で，まことは，恋愛にビンカンな彼女らしく，ルナが誰かに恋をしていることを，見事に見抜いてみせた。戦闘シーンでも，スノーダンサーをパンチで打ち砕く活躍ぶりだった。

次にみんなが行ったのは，ゲームセンター。ちびうさと，おしとやかな亜美をのぞいた４人は，パンチ力を計るパンチングボールに挑戦した。うさぎは35点，レイは80点，美奈子は65点。そして，まことは軽くたたいたのに100点！　さすが，セーラー戦士のパワーNO.１だ。今回の映画で，まことは，恋愛にビンカンな彼女らしく，ルナが誰かに恋をしていることを，見事に見抜いてみせた。戦闘シーンでも，スノーダンサーをパンチで打ち砕く活躍ぶりだった。

Usagi in YATAI

買い物が一段落したし，さあ，今度はオヤツの時間だ。セーラーチームのなかでオイシイものに目がないのは，やっぱり，うさぎ。右手にクレープ，左手に三段重ねのアイスクリーム，口にはタイヤキをほおばっちゃう。偶然，出会ったはるかたちも，うさぎの食いしん坊ぶりにビックリ。だけど，この後，うさぎは，さらにタコヤキに挑戦するのだった。

映画 美少女戦士セーラームーンS

Pretty Soldier SAILOR MOON S THE MOVIE

ビジュアルストーリー

VISUAL STORY

プロローグ 雪の女王

②吹雪が吹き荒れる荒涼とした彗星の大地に，ひとつの女性の影が——。

①遥か宇宙のかなたから，巨大な力を持った敵が地球に迫る　太陽系がうまれたとき，神秘なる力で，外宇宙へと弾き飛ばされた，邪悪な雪と氷の彗星が，数億年もの歳月をへて戻ってきたのである。

③水晶球に映った地球を見つめる邪悪な瞳。「美しき地球……。わたしの手で，さらに美しく変えてあげよう」太古の時代に，太陽系の支配者とならんとした雪の女王スノー・カグヤが，再び蒼き星，地球に魔の手をのばしてきた！

④スノー・カグヤの呼び声にこたえ、滅びの使徒——氷の結晶たちが、大地を砕いて現れる。

6 天文台の望遠鏡で月をながめ、夢をはせることを日課にしていた宇宙翔は、その夜、偶然、月の陰に輝く彗星を発見。新しい星の発見者には名まえをつける栄誉が与えられる。瞳を輝かせる翔だが……。

⑤彗星の接近を知った人間が，たった1人だけ，日本にいた。

⑧慌ててバルコニーに出た翔は，かなたの砂浜へと落ちていく，光のひとつを見る

⑨翔は，車で砂浜に向かい，波打ちぎわにできたクレーターを見つけた。

7 さらに翔は，彗星から小さな光の粒の群が飛び散るという，奇怪な現象を目撃した。なにが起こったんだ？ しかも，放たれた光の粒は，それぞれが自分の意志を持っているかのように，地球めざして飛んでくる。

10 冷気を放ちながら，クレーターの中央で妖しく輝く氷の結晶。が，邪悪な女王の陰謀を知らぬ翔は，この宇宙からの贈り物に心をひかれ，自宅へと持ち帰ってしまう。そして，事件は幕をあける。

宇宙には、いまだ人が知らない、数々の謎がある。素敵なこと、ビックリするようなこと、そして恐ろしいこと……。

ある夜、銀河に夢と憧れを抱く青年、宇宙翔が、偶然発見した彗星〝プリンセス・スノー・カグヤ〟も、そんな謎のひとつだった。純白の長い尾を引き、宇宙をかけめぐり続けていたこの彗星が、なぜ数億年ぶりに地球に接近したのか？

さらに、翔が砂浜で拾った不思議な結晶と彗星との関係は？

セーラー戦士たちに、新たな戦いのときが迫る！

⑪街の大型モニターが，話題の名夜竹姫子とルナ・フロンティア計画を映しだす。

⑫お口をあんぐり〜。タコヤキを食べながら，うさぎも映像を見ている。

⑬きょうはショッピング！ ちびうさや，みんなと街に出てきたのだ。

⑮「なにいってるの，高校受験のお勉強をしなくちゃ，ダメでしょ」とルナが，うさぎを現実に引き戻す。「恋をしたことのないルナなんかに，恋する女の子の気持ちなんか，わかりませんよ〜だ」

⑭「はら〜っ。モニターに映ったスペースシャトルを見て，うさぎの瞳はキラキラ。「あたしも，あれに乗って，まもちゃんと月旅行がしたい！」思いは，ノンキに宇宙へとぶ。

⑯カゼぎみのルナは，一人で先に帰るといいだした。

いま、ちまたでは、最年少の女性宇宙飛行士、名夜竹姫子が参加する、ルナ・フロンティア計画の話題でもちきりだ。中学生最後の冬休みをむかえ、受験の追いこみに入らねばいけないうさぎも、「あたしも、あんなのに乗って、まもちゃんと月旅行がしたい！」

あのねぇ、と、いつものようにあきれ顔でたしなめたルナも、今回は、恋する女の子の気持ちがわかるもんですか、と逆にいいまかされてしまう。

しかし、そんなルナにだって、運命的な男性との出会いが……。

⑰だけど、カゼは予想以上に重く、道の途中で、倒れそうになってしまった。運悪く、そこへ猛烈な勢いで車が突進してきた！

⑱とっさに、１人の青年がルナを抱きかかえ、車から救った。

⑲「よかった……」やさしくルナに微笑む青年、宇宙翔。しかし、ルナは、カゼの熱で何が起きたのかを理解できぬまま、彼の腕のなかで気を失ってしまう。

⑳意識をとりもどしたとき、ルナは翔の部屋にいた。「動かないほうがいい。まだ熱がある」

㉑そして朝……。熱も下がり、心地よい気分で目ざめたルナは、イスに座り眠っている翔を見て、昨夜のことが幻ではないことを知る。

㉒何度もぬれたハンカチで、額を冷やしてくれた翔。そのやさしい手の感触が、ルナの頭によみがえる。「この人……一晩中、あたしのことを」

㉓「あたしなんかのために…」見も知らぬ自分のために、ここまで尽くしてくれる人がいる。感激のあまり、ルナの瞳から涙が……。

㉘そのころ，女性宇宙飛行士・名夜竹姫子が，翔の天文台を訪ねてきていた。

㉔うさぎたちは，行方不明になってしまったルナをめぐって，大騒ぎをしていた。ルナのパートナーであるアルテミスは，「だから，送っていくって，いったんだ……」と，かなり心配している様子だ。

㉙「ルナ・フロンティア計画のニュース，見てくれてる？」「知ってる。おめでとう……」翔のそっけない返事に，姫子はすこしがっかり。

㉕本当にどうしたんだろう，とみんなが思っているときに，「まさか，家出ってことはないわよね」と，美奈子がいいだした。

㉖「うさぎちゃん，心あたりはないかい？」「いじめたりしなかった」と，みんなが疑いの目をうさぎに向ける。そんなこと身におぼえのないうさぎは，プンプン。

㉗「ルナにイヤミをいったりしたとか～」「いつもイヤミをいわれてるのはわたしのほうなんだから！」恒例のレイとのケンカがはじまってしまった。「へへべのへ～」

㉚おととい発見した彗星，プリンセス・スノー・カグヤのことを姫子に自慢する翔。が，姫子がいたＮＡＳＡには，そんな情報は入っていないという。

ルナを助けた宇宙翔と，ＮＡＳＡの飛行士に抜擢された名夜竹姫子は，宇宙開拓事業団の同僚で，幼なじみでもあった。かつて，銀河にはばたく夢を熱く語りあった二人……。しかし，宇宙に幻想的なロマンを持ちすぎる翔と，現実主義者の姫子のあいだには，いまでは目に見えぬ溝ができていた。

「バカバカしいかな。月に神秘な女神のような生命を感じるなんて？」

やさしくルナに微笑み，そんなことを語りかける翔。

ルナは，彼の思いが正しいことを告げたかった。けれど，セーラー戦士や自分の秘密を話すことは許されない。

「この切ない気持ちはなに？　こんな気持ち……，はじめて……」

31採取した結晶を見せても，彗星の話を信じてくれない，翔は，姫子にいらだつ。「このごろ，すこし変よ，翔。宇宙に対して，幻想的なロマンを抱きすぎなんじゃない？」と，姫子。

32「でも，月を眺めていると，生命の宿った神秘なエネルギーを感じるんだ」。

35ルナの名を知った翔は，そんなシャレた名まえをつけた飼い主は，きっと上品な人だろうと推測する。あまりのカンちがいに驚くルナ。

36翔は，コンペイトウにまつわる思い出を語りはじめる。「流れ星に似てるからね。食べながら願うと，いつかかぐや姫が現れる……。子どものころからずっとそう思ってた」

37「竹取物語」に出てくる“かぐや姫”は，本当にいるような気がすると翔は語る。ルナは，そんな彼の純真な心を知り，胸をときめかす。

33貴重な休暇を利用してアメリカから翔に会いに来た姫子。しかし，1年ぶりに再会した2人の思いは……。

34姫子が帰ってしまったと思った翔は，ルナに自分の気持ちを告げる。「なぜ，もっと素直に喜んであげられなかったんだろう……」

スノーダンサー襲来!!

街に吹き荒れる吹雪。巨大な氷柱に閉じこめられる人々。スノー・カグヤが、地球を氷の世界にするために、しもべのスノーダンサーを送りこんできたのだ。

その騒動に出くわしたレイ、亜美、まこと、美奈子たちは、セーラー戦士へメイクアップ！　一方、ウラヌスたち、外周太陽系の戦士もスノーダンサーと遭遇し、戦闘を開始していた。もう、あなたたちに好き勝手はさせない！

不気味に迫る敵に、次々とセーラー戦士たちの得意技が炸裂する――。

㊳姿を消していた彗星，プリンセス・スノー・カグヤが，再び。しかも！　地球が間近に見える場所に現れた！

㊴「遠い遥か昔より，ずっと望んでいたわたしの宝物……ついに手に入れるときがきた」

㊵日本上空に現れたスノー・カグヤが，口から吐き出した猛吹雪。その結晶が，次々と不気味な人の形に変わっていく。「わたしの可愛いしもべ，スノーダンサーよ！　地球を一挙に氷づけにしておしまい」

㊶地上に舞い降りていくスノーダンサーたち！

㊷魔力で，街が急激に冷え込み，雪が降りはじめた。

㊸華麗に宙を駆けめぐり，冷気をふりまくスノーダンサー

㊹これ，どうなってるの⁉　ルナを捜しに街へ出ていたうさぎたちも，そんな奇怪な光景にでくわし，ビックリ仰天。

㊺不気味に舞い踊るスノーダンサー。その体から放たれる魔吹雪を浴びた人々は，逃げる間もなく氷づけに——。

㊻美奈子、亜美、まこと、レイが駆けつけた街角。そこは、すでに一面が氷に包まれていた。新たな敵の存在を知る四人。

47メイクアップ！　四人はヴィーナス、マーキュリー、マーズ、ジュピターに変身した。

㊽セーラー戦士たちを見つけたスノーダンサーの一体が、猛烈な勢いで宙を舞い、魔吹雪を放ちながら襲いかかってきた。危ないっ！

㊾街の喫茶店でくつろいでいた、はるか、みちる、せつなの3人。そこへ、窓を突き破り、氷に包まれた人々が飛び込んで来た!? 彼女たちも異変を感じた！

㊷ジャンプ一閃──。まずはプルートが、時空の扉を開く鍵でもあった、ガーネットロッドを振り上げて、反撃に転じる。

㊿店を飛び出した三人は、それぞれ、ウラヌス、ネプチューン、プルートにメイクアップ！ 外宇宙からの侵略者と戦うことを使命とした、三戦士の瞳が、一体のスノーダンサーを見つけた。

㊸スノーダンサーも、吹雪で迎撃しようとしたが、強烈なロッドの一撃は、そんなスキを与えなかった！

㊹さらにウラヌスの得意技、ワールド・シェイキングが炸裂する。キュルキュル！ という絶叫を上げ、弾け散るスノーダンサー。

㊶ウラヌスたちに迫る魔吹雪。だが、そんな攻撃を受ける彼女たちじゃない。

55一方、苦戦を続けていた、4人のセーラー戦士たちも、ジュピターのシュープリームサンダーをきっかけに、一気に形勢逆転！

56ヴィーナスのクレッセントビームが、スノーダンサーの腕に命中。吹き飛んだ腕は、細かい雪の粒に変わり、パラパラと散っていった。

57ドサッ！　スノーダンサーは地面に落ち、ついに動かなくなった。恐る恐る、倒れた彼女の側へと近寄るヴィーナスたち。「ふう、なんだか気味の悪い奴だったね……」

58しかし、スノーダンサーはゾンビのように再び起き上がった。こんなにダメージを受けても、平気で動けるなんて、ホントに気味が悪い!?

59牙をむいて突進してくる敵に、驚くヴィーナスとジュピター。足がすくんで動くことができない。

60そのとき、マーキュリーのシャボンスプレーが、スノーダンサーの突進を食い止めた。

61とどめはマーズの炎！　紅蓮のファイヤー・ソウルが、雪の化け物の体を蒸発させる。

㉜さて，必死に街を逃げ回っていたうさぎとちびうさも……。

㉝しつこい敵の目をそらし，変身のチャンスをつくるため，2人で，空を指さし「あっ！」

㉞まんまとつられて，空を見るスノーダンサー。作戦成功っ！　すかさず路地へ――。

㉟なにが起きたのかわからずに，首をひねるスノーダンサー。

そのころ、うさぎとちびうさは大慌てで街を逃げ回っていた。なにしろ、スノーダンサーの魔吹雪を浴びたら、すぐにカチンコチンの氷づけ！　けど、やっぱり、このままじゃ……。

敵のスキをついて、うさぎとちびうさは、セーラームーンとちびムーンにメイクアップ！

「元気な冬休み！　にぎわう街や人々を、氷づけにしちゃうなんて許せない」「許せない！」

さあて、二人は多彩な幻覚攻撃をしかけるスノーダンサーに、どんな反撃を？

62さて，必死に街を逃げ回っていたうさぎとちびうさも……。

63しつこい敵の目をそらし，変身のチャンスをつくるため，2人で，空を指さし「あっ！」

64まんまとつられて，空を見るスノーダンサー。作戦成功っ！　すかさず路地へ——。

65なにが起きたのかわからずに、首をひねるスノーダンサー。

そのころ、うさぎとちびうさは大慌てで街を逃げ回っていた。なにしろ、スノーダンサーの魔吹雪を浴びたら、すぐにカチンコチンの氷づけ！　けど、やっぱり、このままじゃ……。

敵のスキをついて、うさぎとちびうさは、セーラームーンとちびムーンにメイクアップ！

「元気な冬休み！　にぎわう街や人々を、氷づけにしちゃうなんて許せない」「許せない！」

さあて、二人は多彩な幻覚攻撃をしかけるスノーダンサーに、どんな反撃を？

セーラーちびムーン
メイクアップ!!

66 うさぎとちびうさを見失ったため、別の人間を魔吹雪の餌食にしようとするスノーダンサー。だが、その前に、変身した2人が、立ちふさがった。

67 「愛と正義の――」「セーラー服美少女戦士！」

68 「セーラームーン！」と、「セーラーちびムーン！」決めポーズも決めセリフも、2人いっしょ。「月にかわって」「おしおきよ！」さあ、いよいよダブル・ムーンの戦闘開始だ！

69 しかし、スノーダンサーも、黙って退治されるほど甘くない。奇怪な術で、次々に自分の分身をつくり、セーラームーンたちを包囲。優雅に踊りながら、グルグルと回りはじめた。「そ、そんなことされちゃうと、目、目が回っちゃう！」

71「本物は、あなたよ！」包囲する敵の１体に、セーラームーンは自信たっぷりに、ロッドを向ける。しかし、そのスノーダンサーは、ニタリと笑い姿を消した……。

⑫「わっ、まちがえちゃったぁ！」それは、ニセ物。分身のひとつだったのだ。

73 突如、セーラームーンの背後に本物が現れ、スパイラルハートロッドを弾き飛ばしてしまう！

74 武器を奪われたセーラームーンに、もう反撃する手だてはないのか!?

70 惑わされちゃだめ。瞳を閉じ、精神を集中させ、敵の本体が放つ邪気を感じようとするセーラームーン。そして——。

⑮このままでは，とどめの魔吹雪を浴びてしまう!?　そのとき一輪のバラが宙を舞い，敵の動きを封じた。

⑯ロッドの傍らに刺さるバラの花。これを投げてくれたのは——。

⑰シャンシャンと街の空に響きわたる鈴の音……。そこに現れたのは，なんと，空飛ぶソリに乗ったサンタクロース？　うさぎも，ちびうさも，意外なできごとに，ただただ呆然とするばかり。

78よく見ると、ソリは飛行船につるされていた。そして，「メリークリスマス！アンド，ハッピーニューイヤー!!」サンタの扮装を脱ぎすて，颯爽と現れたのは，やはり，タキシード仮面だった！

⑲「雪の多い北国の冬はきびしい。しかし，白銀の世界に染める雪は，美しき冬の恋人たちだ！」と，キメるタキシード仮面。だが，スノーダンサーは意味がわからず「キュキュ〜？」

⑳コマを投げて、襲い来るスノーダンサーを撃退するタキシード仮面。「セーラームーン、いまだ！」

㉛ロッドを取り戻せばこっちのもの。ムーン・スパイラル・ハート・アタックで、スノーダンサーも木っ端微塵よ！

86だが、残念ながら敵に関する手がかりは、何ひとつないのだ。「いずれにしろ、注意しなければならないようだな」と、はるか。

85「あいつら、いったいなんだったの？」歩道橋の上に集まり、新たに出現した敵のことを話し合う、8人のセーラー戦士たち。

82スノーダンサーたちが退却すると、街を包んでいた氷も消え去った。「あれ？」

87そこへ行方不明だったルナが現れた。心配していたうさぎは、涙、涙、涙――！

83元の姿に戻った街を見下ろし、ホッとするセーラームーンたち。

88首に巻かれたリボンのことを、ちびうさにたずねられたルナは、翔のことを思い出して顔を赤らめ……、慌てて話題をそらす。「そ、そんなことより――」

84だが、遥か太古、不思議な力で太陽系を追放されたスノー・カグヤが、この程度のことで地球を、あきらめるはずは……。

サンタの扮装で現れたタキシード仮面の活躍で、なんとかピンチを逃れたセーラームーンは、ムーン・スパイラル・ハート・アタックで、スノーダンサーを撃退！

人々を幽閉していた氷も消え、街は再び元の平和な姿に戻った。

だが、これでスノー・カグヤの陰謀がついえたわけではない。

「いまさら慌てることはない。地球を奪う作戦を変えればいいこと」

カグヤは、先だって地球に向けて放った、彗星の結晶を捜すよう、スノーダンサーたちに命じた。そう、翔が砂浜で拾った、あの氷の結晶が、敵の切り札だったのだ。

一方、うさぎたちも、謎の彗星が地球に接近しているという話を、ルナから聞き、その情報を得ようとするが……。

89「月の近くにね、謎の彗星が、接近してるらしいのよ」そんなルナの言葉に、一同は、敵と関係があるのではと疑うが……。

ルナの恋

㉛「その後、特に異常はないし。あの変な敵、あれっきりだったのかな？」と、まこと。

㉚その後、亜美がいくら調査しても、ルナのいう彗星は発見できなかった。

㉜そこへ現れたアルテミスは、キョロキョロとして「あれ、ルナは？」

㉝「なにか用があるから来ないんだって」とうさぎ。ちびうさも「このごろ、ルナ、変なのよ。コンペイトウ食べながらね、お医者さんの本ばっか読んでるの」

㊲「わからない。あの人の病気いったいなんなの？」必死に医学書を調べるルナ。

㊳ベッドの中で苦しげに咳こむ翔。そんな彼を気づかう姫子は、やってきたルナを追い返す。

㉟「おととい、宇宙開拓事業団の天文台で見かけたの。なにか様子が変だった」と、美奈子。

㉞「そういえば、このあいだ、あたしの家に医学書を借りにきたわ」と、亜美も不思議そう。

㊴「邪魔……あたしが、ネコだから」しょげかえるルナ。

㊱「だいたい、受験勉強しろしろって、うるさくいわなくなったのよ。確かに、変！」と、焼きイモをほおばるうさぎ。だが……。

⑩公園を通りかかったルナの耳に、うさぎの声が。「あんまりベタベタくっつかれるの、嫌なんでしょ？」

⑩うさぎは，デート中にも，ついついルナのグチを衛にこぼしてしまう。

⑭「オレはうさこを、わずらわしいと思ったことなんてないさ」「ホント？」

⑩衛の言葉をカンちがいしたうさぎは、「まもちゃん、あたしがそばにいるのわずらわしいんだ」と、泣き出した。

⑯仲直りの記念は，熱いキス……。うさぎの中学生活の思い出が，またひとつ増えた。

⑩衛は，ちょっとルナを弁護しただけなのに……。

⑯ルナは，いつまでも抱き合う２人の姿を，ボ〜ッと見つめ続けていた。

その翌日、翔が原因不明の病気で寝こんでしまった。衰弱していく彼を救うため、ルナは、亜美から借りた医学書をひもとくが、治療の手がかりは、得られない。

「あたしがネコだから。人間だったら、ちゃんと翔さんを看病してあげられるのに」

ルナの心の中で、翔への思いが確実にふくらんでいく。でも、この思いは何なのだろう？

天文台からの帰り道、うさぎと衛のデートを目撃したルナは、知らず知らずのうちに、羨望の瞳で二人の姿を見ていた……。

107 きょうはもう，幸せ気分120%。お休みまえの髪の手入れも，鼻歌をうたいながらルンルン。

103 キスの話を期待してたルナは，「ソファで，すぐねむっちゃうの」という答えにガクッ。

105 「あ，あの……。いつも衛さんと，どんな話をしているの？」いつにない神妙な顔で，そんな質問をする。

106 うさぎから漂うよい香りに誘われ，鼻をクンクンさせるルナ。それはポプリの香りだった。

114 「あ、あの……キ、キスってどんな味？」「もう、甘く甘く、とろけるような味よ」

110 「キャハッ！」と，うさぎは勝手に1人で照れ笑い。「ま，いろいろね」

111 「まもちゃん，難しい本ばかり読んで，相手にしてくれないことが多いの。でもね，自分の興味のあることは，とても一生懸命，話してくれるのよ」

115 ルナも，恋する人との甘いキスを夢見て，ドキドキしてしまう。

112 うさぎの，ひとことひとことに，胸をドキドキさせるルナ。「それから……」

⑪「不思議だよな　よくわかっないけど、ルナはネコなのに、なんでもわかりあえる気がする」

⑪そして、うさぎたちが甘い夢の世界を漂う、深夜。ルナは、こっそりベッドから抜け出した。

⑰体が弱いため、宇宙飛行士になれなかった翔。彼の、宇宙から月や地球を見るという夢は、もう……

⑪まず、小瓶のフタを開け、恋する乙女の香り――ポプリの花びらを。だけど、かたかったフタが急に開いて……。

⑫「あたしも宇宙に……あなたと一緒に、行ってみたい」ルナは、眠る翔の唇に、そっと自分の唇をあてる。

⑪「…・来てくれたのか」部屋を訪れたルナを、翔は歓迎してくれた。彼の体はかなり衰弱している。

⑲「せめて、姫の旅立ちだけは、見ておきたいな。ボクの夢を、姫がかなえてくれる」

⑫美しい海岸の夜明け。ルナの心は、あの朝日のように、熱く明るく、ときめいていた。

⑫⑥「アルテミスは，ルナのことを愛してるの!?」
「いまごろ気づいたの――。おマヌケ！」

⑫④きょうの勉強会は，ルナの恋愛のうわさで中断ばかり。うろたえるアルテミスを気づかい，美奈子は「根拠があるわけじゃ」とフォローを入れるが……。

⑫⑦「恋かぁ。うらやましいなぁ」と，まこと。みんな，受験勉強に追われて恋する暇もないのだ。

⑫⑧唯一，恋人のいるうさぎは，「あたしは，ちがうもん」とVサイン。すると，「あんな奴，放っておこう」と，みんなにソッポをむかれてしまった。

⑫⑤「あの黄色いリボン，絶対に恋だよ」とまこと。ショックをうけたアルテミスは，部屋を出ていってしまう。

⑫⑨恋を夢見る一同。「でも，受験が終わったら，いつかはステキな恋をしたいな」と亜美。オクテの彼女も，恋愛に憧れるようになっていた。

⑬⓪「あーあ……。先輩のこと思い出しちゃった。会いたいなぁ」つらかった失恋も，いまでは甘酸っぱい思い出になっている。

㉜「初恋の人，いまごろどうしてるのかな……」美奈子が思いをはせるのは，イギリスで出会ったアランのことなのか，それとも……。

㉝「本当に，平和なのかな？」「時が，止まってしまったかのよう……」

㉞はるかたちは，姿を見せぬ敵に，妙な胸さわぎを感じていた。

「あたしだって……」とレイが思っているのは，雄一郎のことかな？ そして，ちびうさも，思わずホワ〜ン

ルナの願い

なぜか顔を伏せてしまうルナ。「なにか心配なことがあるんだったら……」と、アルテミス。

㉟雪の中、アルテミスがルナを待っていた。

そんなルナの後を追う、うさぎ――。

「ごめんなさい。あたし、急いでるから」ルナは駆け去ってしまう。

そのとき、旅立ちの挨拶に訪れた姫子が、胸に秘めていた思いを、翔に語る。

㊴天文台にたどり着いたうさぎは、ルナの恋する相手が人間であることを知り、驚く。

「宇宙から帰って来たら、わたし、ずっとあなたの側に……」だが、それを聞いた翔は――。

「確かにわたしは、月に神秘なかぐや姫のようなエネルギーなど、感じたりはしない。でも！」「もう、たくさんだ！」

姫子が泣きながら部屋を飛び出したあと、翔は、あの思い出の写真をとりだして――。

写真に落ちる翔の涙を見たルナは、彼の本心を知る。「翔さんは、本当は……姫子さんを」

「君は、月を、宇宙に浮かぶ単なる物体としか感じられない人だ。ボクとは、ちがう！」ショックをうけ、呆然となる姫子。

粉雪が舞い散る空を、涙でうるんだ瞳で見上げるルナ――。

その日、翔は姫子との関係を断ち切った。二人は、住む世界も、考えもちがう。君に似合う人がどこかにいる。それが翔の言い分だった。だけど、ルナは、彼の本心に気がついてしまったのだ。

「あたしったら、ネコのくせしてね。もしかしたら、お互いに分かりあえる、運命の人になるかもしれない、そう思ったの。でも、あの人にとって、それは、あたしじゃなかった……」

せめて、人間だったら思いを伝えることができた。たとえ結果がどうでも……。

そんなとき、翔の部屋に異変が。あの結晶を狙い、スノー・カグヤが現れた。

「翔さんたら，姫子さんに病気のことを隠して。バカよ。姫子さんを，愛しているのに」ルナの瞳に涙が。うさぎも，ルナがつらい恋をしていることを知った。

うさぎは，ルナに何もいってあげられない。

「お互い，わかりあえる運命の人……」翔が自分にとって，そんな人になるかもしれないと思っていたと，ルナはうさぎに話した。「でも，あの人にとって，それは，あたしじゃなかった……」

人間の女の子になりたいな…

「人間の女の子になりたいな」人間だったら，せめて，思いを打ち明けて，こんなもどかしい思いをしなくてもすんだのに。

こらえきれず，泣き崩れるルナ。その小さな震える体を，うさぎは抱きしめる。

(150)だが、スノー・カグヤが氷の結晶を持ち去ったあとも、翔は苦しみから解放されずにいた。

(151)そのとき，「キュル！」というあの不気味な声が!?　天文台の上に，スノーダンサーが現れ，翔の部屋をのぞいている。

(152)スノー・カグヤは，結晶を奪うために翔の部屋に現れたのだ。翔の体が衰弱したのも，手元に結晶をおいていたためだったのだ。

(153)「フフフ‥‥この結晶は，お前の全体エナジーを吸って，パワーを増幅したようだ．

(154)「おまえも……もうすぐ凍りつくこの地球とともに，私の美しいコレクションとなるのです！」冷ややかな笑い声を残して，スノー・カグヤは消えていった。

(155)「うぁ〜〜〜〜〜っ！」邪悪な力を解放しながら，氷の結晶は，翔の肉体と心を蝕んでいく。

(156)「あの結晶がある限り，妖気は消えないの……」このまま，翔は衰弱して死んでしまうのか？

(157)「今こそ地球を，美しき氷の世界に閉ざすとき！」スノー・カグヤは，結晶を海中に投げこんだ。

(158)海中で猛烈な冷気を放ち，結晶は，邪悪な氷の柱へと姿を変えていく。

「太古の昔、現れし邪悪な星、氷の結晶をまき散らす。地球を覆いし結晶、大地を凍らせ、闇と化す——」

160 そのころ、アルテミスが、古文書に記された邪悪な星の予言を思い出していた。

予言によると、地球は多くの愛と友情の力——シルバークリスタルパワーで救われるという。だが、どうすればその力が？

うさぎとルナは、姫子に会うために、宇宙開拓事業団本部を訪ねた。「あら、このネコちゃん、あなたのお家の？」

さらに衰弱が進む翔……。そんなとき、ルナはあるひらめきを感じた夢にまで見たかぐや姫に会えば、彼は元気になれるのでは？

164 姫子は、ルナ・フロンティア計画を延期してくれという、うさぎの頼みをきき、当惑する。

自分の恋が報われないことを承知で、翔のためのかぐや姫になりたいと、ルナは、うさぎに話す。

うさぎは、カグヤや彗星のことを説明するが、姫子はきいてくれない。

「でも……ネコが、人間の姿なんかになれっこないわね」

「この科学の時代に、夢のような話はやめて！」姫子は、うさぎの言葉を信じようとはしない。

最後の戦い

翔の生体エナジーを吸った彗星の結晶は、そのパワーを増幅。海上にスノー・カグヤの城――巨大な氷の塔をつくりあげた。

「今こそ、地球を美しき氷の世界に閉ざすとき！」

全世界を襲う猛烈な寒波。アルテミスが昔読んだ"古文書"に記されていたように、地球は、彗星の結晶によって、雪と氷に覆われてしまうのだろうか!?

太陽系を護る、外部太陽系・三戦士としての使命をはたすため、氷の塔に立ち向かうウラヌスたち。

そして、マーキュリー、ジュピター、マーズ、ヴィーナスの四人も駆けつけた！　地球の命運をかけた決戦がはじまる

⑩世界を襲った大寒波は、アフリカにまで猛吹雪を。東京もまた、雪と氷の都市に変えられつつあった。

⑪圧倒的な冷気パワーを放つ結晶の力に、満足げな笑みをもらすスノー・カグヤ。だが、その前に、太陽系外周の3戦士が――！

⑫輝く結晶の塔から、新たなスノーダンサーが、次々と生み出されていく。

⑬「フフフ……。現れたわね、セーラー戦士ども。でも、もう手遅れよ！」

⑮増殖した敵を、天界の力を宿した強烈な光弾で、一気になぎ倒すウラヌス。

⑭群がるスノーダンサーたちを、ネプチューンのディープサブマージが一掃！

⑲「しょせんは無駄なあがき……」氷の塔は無尽蔵にスノーダンサーを生み出し続けているのだ。

逆襲に転ずるプルート――冥界の風デッド・スクリームが，ダンサーたちを死の世界へ導く。

⑱プルートめがけ，波状攻撃を仕掛ける4体のスノーダンサーたち――。

⑰プルートは魔吹雪の射程距離を完全に見切り，すべての攻撃を優雅にかわしていく。

⑳「スノーダンサーたちよ。すぐに死なせないで，いたぶってやるのです！」

㉑その窮地を救うマーズの炎。7人の[illegible]に集結したのだ！

(78)そして，最後に残ったプルートまでもが，頼みのロッドを封じ込められ，冷たい雪の上へ……

(79)いくらやっつけても，敵は次々と現れる。マーキュリーが，ジュピターが，次々に力つき倒れていく。

(80)とどめの一撃が放たれようとした，そのとき――セーラームーンが現れた！

(81)翔がベッドから消えた!? 精星の危機を姫子に伝えるため，雪の降る街へ出ていったのだ。

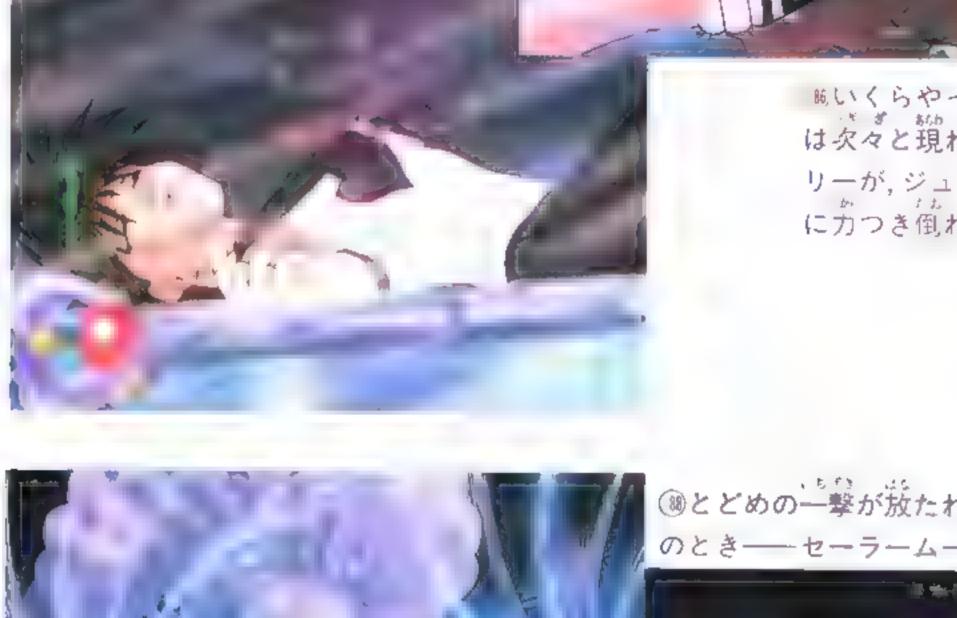
(82)敵を迎え撃つため，必殺技の構えをとるマーズとネプチューン。だが，その一瞬のスキを狙われ，背後から別のスノーダンサーの攻撃を受けてしまう。

(83)「フフッ，永遠に解けぬ氷の中に包まれて，眠りにつくがいいわ。なんの悩みもなく，静かで穏やかな世界……素晴らしいわよ」「お断りだわ！」

(84)ヴィーナスとウラヌスも，多数の敵に両腕をつかまれ，氷壁に叩きつけられる。

(85)傷つき疲れたセーラー戦士を，その数で圧倒し，いたぶり続けるスノーダンサーたち。

(187)そして，最後に残ったプルートまでもが，頼みのロッドを封じ込められ，冷たい雪の上へ……。

(186)いくらやっつけても，敵は次々と現れる。マーキュリーが，ジュピターが，次々に力つき倒れていく。

(182)翔がベッドから消えた!? 彗星の危機を姫子に伝えるため，雪の降る街へ出ていったのだ。

(188)とどめの一撃が放たれようとした，そのとき——セーラームーンが現れた！

(183)敵を迎え撃つため，必殺技の構えをとるマーズとネプチューン。だが，その一瞬のスキを狙われ，背後から別のスノーダンサーの攻撃を受けてしまう。

(189)「フフッ，永遠に解けぬ氷の中に包まれて，眠りにつくがいいわ。なんの悩みもなく，静かで穏やかな世界…素晴らしいわよ」「お断りだわ！」

(184)ヴィーナスとウラヌスも，多数の敵に両腕をつかまれ，氷壁に叩きつけられる。

(185)傷つき疲れたセーラー戦士を，その数で圧倒し，いたぶり続けるスノーダンサーたち。

(190)街を走りまわり，ついにルナは，雪の中に倒れている翔を発見した。瀕死の身でありながら，翔は，愛する人を心配し，その名を呼び続けていた……。

(193)聖杯の力が開放され，スーパーセーラームーンに2段変身。善と悪の女神が激突するときがきた——！

(191)セーラームーンは，カグヤに訴えた。自分たちには，恋をすることもあれば，失恋することもある。片思いで眠れない夜もある——。

(194)手のひらにエネルギーを集め，純白の光球を投げつけるスノー・カグヤ。

(195)ロッドをひるがえし，必殺のレインボー・ムーン・ハートエイクで迎え撃つ！

(196)だが，そのパワーはスノー・カグヤのほうが，優っていた。スーパーセーラームーンが負けた!?

(192)「苦しいときがあるから，それを乗り越えるとき，必ず，幸せなときがやってくるのよ！」人が生きている世界は，つらいことがあり，うれしいことがあるから素晴らしい。だから，生きていると実感できるのだ。セーラームーンの言葉を，じっと聞く戦士たち。

得意技を駆使してスノー・カグヤに挑む，七人のセーラー戦士たち。しかし，彗星の結晶の力で，スノーダンサーたちは，倒されても倒されても復活する。

マーズが，ネプチューンが……。七人のセーラー戦士は，次々と力つき，氷原に倒れてしまう。

そんなとき，最後の希望——セーラームーンが現れた。

「あなたが美しいと思う氷の世界は，死の世界よ！」

聖杯の神秘な輝きで，スーパーセーラームーンにクライシス・メイクアップ！　渾身の力を込めて，レインボー・ムーン・ハートエイクをスノー・カグヤに放つが——

聖杯の力が開放され、スーパーセーラームーンに2段変身。善と悪の女神が激突するときがきた——!

街を走りまわり、ついにルナは、雪の中に倒れている翔を発見した。瀕死の身でありながら、翔は、愛する人を心配し、その名を呼び続けていた……。

手のひらにエネルギーを集め、純白の光球を投げつけるスノー・カグヤ。

ロッドをひるがえし、必殺のレインボー・ムーン・ハートエイクで迎え撃つ!

セーラームーンは、カグヤに訴えた。自分たちには、恋をすることもあれば、失恋することもある。片思いで眠れない夜もある。

だが、そのパワーはスノー・カグヤのほうが、優っていた。スーパーセーラームーンが負けた!?

「苦しいときもあるから、それを乗り越えるとき、必ず、幸せなときがやってくるのよ!」人が生きている世界は、つらいことがあり、うれしいことがあるから素晴らしい。だから、生きていると実感できるのだ。セーラームーンの言葉を、じっと聞く戦士たち。

得意技を駆使してスノー・カグヤに挑む、七人のセーラー戦士たち。しかし、彗星の結晶の力で、スノーダンサーたちは、倒されても倒されても復活する。

マーズが、ネプチューンが……。七人のセーラー戦士は、次々と力つき、氷原に倒れてしまう。

そんなとき、最後の希望——セーラームーンが現れた。

「あなたが美しいと思う氷の世界は、死の世界よ!」

聖杯の神秘な輝きで、スーパーセーラームーンにクライシス・メイクアップ! 渾身の力を込めて、レインボー・ムーン・ハートエイクをスノー・カグヤに放つか——

197「あなたが美しいと思う、水の世界は、死の世界よ！」懸命に起き上がる、スーパーセーラームーン。

198「フッ、苦しそうだな……。いま、その苦しみをとりのぞいてやろう！」

199スーパーセーラームーンは、ブローチに秘められた銀水晶の力を開放して、カグヤの野望を阻止しようとする。だが、それは…。

200「命を育む世界を…」銀水晶を天に掲げるスーパーセーラームーン…！

201「銀水晶を使ったら死んじゃう！」「みんなで守るのよ！」

202「そうよ。みんなで、愛と友情のシルバークリスタルパワーを！」マーキュリーが、仲間たちに呼びかける。

203タキシード仮面とセーラーちびムーンも、戦いに参加した。再び伝説は、蘇るのか！

204固く手を握りあい、愛と友情の輪を作る戦士たち。その体を不思議な光が……。

205「くらえーっ！」。その輝きに動揺したスノー・カグヤは、渾身の力を込め、巨大な光球を放った。

197「あなたが美しいと思う、氷の世界は、死の世界よ！」懸命に起き上がる、スーパーセーラームーン。

198「フッ、苦しそうだな……。いま、その苦しみをとりのぞいてやろう！」

199スーパーセーラームーンは、ブローチに秘められた銀水晶の力を開放して、カグヤの野望を阻止しようとする。だが、それは―。

200「銀水晶を使ったら死んじゃう！」「みんなで守るのよ！」

201「そうよ。みんなで、愛と友情のシルバークリスタルパワーを！」マーキュリーが、仲間たちに呼びかける。

202タキシード仮面とセーラーちびムーンも、戦いに参加した。再び伝説は、蘇るのか！

203「命を育む世界を！」銀水晶を天に掲げるスーパーセーラームーン

204固く手を握りあい，愛と友情の輪を作る戦士たち。その体を不思議な光が……。

205「くらえーっ！」その輝きに動揺したスノー・カグヤは，渾身の力を込め，巨大な光球を放った。

206銀水晶から純白のまばゆい閃光が放たれ，迫り来る邪悪な光球を迎え撃つ。

…の光は、まさか、あのときの!!」

208「宇宙の星は生命を育みながら，刻々と動いているわ。息づかいが聞こえない？　わたしたちは地球という，この小さな星で命を与えられた。それは確かに小さな命かもしれません。でも，与えられたこの命を，大切に育み続けたい……」すべての生命のため，あらゆる生物が生きるこの世界のため，スーパーセーラームーンは戦う。

209輝きを増した正義の光は，ついに，邪悪な光を跳ね飛ばし，スノー・カグヤの体に激突した。「ぎゃ―――っ！」

210閃光に飲み込まれ，粉々に砕け散るスノー・カグヤとスノーダンサーたち。

211さらに，宇宙へと飛び出した閃光は，月の側を漂う彗星までも，破壊した。これで，もう，雪と氷の魔女が復活することはないだろう。

、の力は、まさか、あのときの!!」

206 銀水晶から純白のまばゆい閃光が放たれ，迫り来る邪悪な光球を迎え撃つ。

208 「宇宙の星は生命を育みながら，刻々と動いているわ。息づかいが聞こえない？　わたしたちは地球という，この小さな星で命を与えられた。それは確かに小さな命かもしれません。でも，与えられたこの命を，大切に育み続けたい……」すべての生命のため，あらゆる生物が生きるこの世界のため，スーパーセーラームーンは戦う。

⑳輝きを増した正義の光は，ついに，邪悪な光を跳ね飛ばし，スノー・カグヤの体に激突した。「ぎゃ———っ！」

㉑さらに，宇宙へと飛び出した閃光は，月の側を漂う彗星までも，破壊した。これで，もう，雪と氷の魔女が復活することはないだろう

⑳閃光に飲み込まれ，粉々に砕け散るスノー・カグヤとスノーダンサーたち。

瞳の中の宇宙

うさぎは、消えゆく銀水晶の輝きに、もうひとつだけ願いごとをした——。「お願い、一晩だけでいいの ルナを人間の女の子に、かぐや姫に変えてあげて！」

うさぎの願いは、かなった！ 月の輝きを浴びたルナの体が、突然、キラキラと七色の光に包まれ……

大きなつり目の瞳に、ちっちゃな鼻。そして額のアザ——。そんなネコのころの面影を残しながら、ルナは、しだいに人間の少女の姿に変身していく。

不思議な光を浴び、意識を取り戻す翔。

スラっと伸びた自分の手足、さらに自分の全身にちょっと驚き。完全に人間の姿になれた！

次の瞬間、翔はルナに手をひかれ、宇宙空間を飛んでいた。「まさかボクは、いま宇宙に？」

「……誰？」不思議そうに見つめる翔に、ルナは「かぐや姫よ」と答えた。

宇宙から見た地球の夜明け。その想像以上の美しさに、翔は感激し、瞳を輝かす「すごい、こんな光景が見られるなんて！」

…を見てうれしそう…か、その額を見…と首をひねる…見…、それ、首のり…

奇跡は起きた——。セーラー戦士たちの愛と友情によって生まれた伝説のシルバークリスタルパワー。邪悪な彗星を破壊した、その神々しい輝きは、さらに、人間になりたいというルナの願いをも、かなえてくれたのだ。

瀕死の翔の前に、かぐや姫として現れたルナ。夢に見続けていた、かぐや姫に会うことができれば、翔も勇気がわいて、生きる力を取り戻せるはずだ。

ルナは宇宙空間に翔を導いた。これは、幻想？ それとも現実？ 星々、そして宇宙から見た美しい地球の夜明けに、翔は心を弾ませて、子供のように瞳を輝かす。

そんなとき、翔は、少女の額の三日月マークと、首のリボンに気がついた……。

⑳次の瞬間、翔はルナに手をひかれ、宇宙空間を飛んでいた。「まさかボクは、いま宇宙に？」

㉑スゥっと伸びた自分の手足、さらに自分の全身にちょっと驚き。完全に人間の姿になれた！

㉒宇宙から見た地球の夜明け。その想像以上の美しさに、翔は感激し、瞳を輝かす「すごい、こんな光景が見られるなんて！」

㉓「……誰？」不思議そうに見つめる翔に、ルナは「かぐや姫よ」と答えた。

[illegible]翔を見てうれしそう[illegible]か。その額を見[illegible]と首をひねる。[illegible]それ、首のリ[illegible]

奇跡は起きた——。セーラー戦士たちの愛と友情によって生まれた伝説のシルバークリスタルパワー。邪悪な彗星を破壊した、その神々しい輝きは、さらに、人間になりたいというルナの願いをも、かなえてくれたのだ。

瀕死の翔の前に、かぐや姫として現れたルナ。夢に見続けていた、かぐや姫に会うことができれば、翔も勇気がわいて、生きる力を取り戻せるはずだ。

ルナは宇宙空間に翔を導いた。これは、幻想？　それとも現実？　星々、そして宇宙から見た美しい地球の夜明けに、翔は心を弾ませて、子供のように瞳を輝かす。

そんなとき、翔は、少女の額の三日月マークと、首のリボンに気がついた……。

224 翔は，雪の中で目をさました　やはり，あれは幻だったのか？。

㉑宇宙にやってきた姫子は，少女の姿を目撃する。「月の女神……⁉」

225 うさぎは，すべての力を使い果たした。これで，ひとつの戦いが終わった……。

222「あなたは生きなければダメ。あなたを愛する人のために，生きなければ」その意味を理解した翔は，力強くうなずく。

223「ありがとう，ル……」少女は翔の唇をふさぎ，続く言葉をいわせなかった。「あなたの側に，ずっといられないわ。……好きよ，あたしの宇宙少年」

エピローグ 恋人たち

数日後——。花束を手にした翔が、空港のロビーに立っていた。ルナ・フロンティア計画を終え、日本に帰ってきた姫子を出迎えるために。そして、姫子もまた、そんな翔の思いを素直に受け入れた。報道陣の目も気にせず、彼の胸に飛び込む姫子。

「ルナ、本当にいいのね？」と、うさぎがきくと「ええ、だって、あたし、ネコだもの……」

二人を祝福するため、ルナは思い出のコンペイトウを贈った。そして、そんなルナをやさしく迎えてくれたのは、アルテミスだった。

かくして、ルナの甘くせつない初恋物語は幕を閉じた——。

226「月には、かぐや姫がいました」帰国を待ちかまえていた報道陣に、姫子は、そんなコメントを

227ロビーの片隅に立つ翔。その姿を見つけた姫子は、報道陣を振り切って、彼の胸に飛び込んだ

228固く抱きあう2人の姿を、ルナがうれしそうに見つめてる「本当にいいのね？」「だって、あたし、ネコだもの……」

229頭上から降ってきたコンペイトウの贈り主が誰なのか、翔は、わかったような気がした。

(230)空港の出口へ向かうルナの前に，アルテミスが現れた。なんとなく気まずい雰囲気。

りとまどうルナに、アルテミスは照れくさそうに、「ボクはいつでも、君の側にいるよ」と答えるのだった。

(232)ルナは，申し訳なくて，アルテミスの顔を見ることができない……。しかし，彼はあたたかく「お帰り，ルナ！」と語りかけてきた。「アルテミス，どうして……」

(233)その言葉を聞いたルナの瞳に、涙がジワリ……。アルテミスに駆けより、頬をすりよせる。

(234)これで，めでたし。ルナとアルテミスを，うさぎが，あたたかく見つめてる。

(235)ルナにすり寄られ，顔を真っ赤にするアルテミス。さあて，このカップルの未来は？　それは別のエピソードにて――。

映画「美少女戦士セーラームーンS」と

武内直子の世界

▲映画版「美少女戦士セーラームーンS」の原作として，武内直子先生が描きおろした単行本「――かぐや姫の恋人」の表紙イラスト。このイラストをもとにして，映画版のポスターのセル画が描かれた。「――かぐや姫の恋人」は，現在，KCなかよし「美少女戦士セーラームーン　かぐや姫の恋人」（定価390円・税込）に収録されています。

今回の映画は，原作者の武内直子先生のストーリー案を，忠実に映像化するかたちでつくられた。ここでは，武内先生のお話をききながら，先生がキャラクター原案として描いたイラストを見てみよう。

今度の映画では，どうして，ルナが主人公だったのだろう。ロマンチックなお話になったわけは？　そんな疑問について，武内先生に答えてもらったぞ。

×　×　×

――今回の映画では，どうしてルナを主人公にしたのでしょうか？

武内　「セーラームーン」に登場したすべてのキャラクターが主人公になるお話を描きたいんです。だけど，わたしには，時間もパワーもあまりないので，今，いちばん描きたいものを描いたのです。それがルナのお話だったんです。

――今回のお話は，いつ，思いつかれたものでしょうか。

武内　「セーラームーン」の連載をはじめたころから，ルナをいつか人間の女の子にしようと，決めていました。しかも，たった一晩だけ。ルナの恋の相手を，宇宙飛行士にした

のは、わたしがすごくキョーミがあり、身近に感じていた題材だからです。宇宙へ行きた～い♡

――ルナは、月の王国にいたころから、しゃべれるネコなのでしょうか。それとも、もとは人間だったのでしょうか？

武内　しゃべれるネコです。でも、すご～く昔は、人間だったかもしれません。

――ルナの年齢は、いったいいくつなのでしょうか？

武内　ヒ・ミ・ツ♡

――ルナとアルテミスには未来世界でダイアナという子供がいます。「セーラームーン」の世界では、未来は変わらない確実なものなのでしょうか？　つまり、ルナとアルテミスは絶対に結婚するのでしょうか？

武内　わたしはすごく気まぐれで、考えがコロコロと変わります。だから、「セーラームーン」の未来の世界も変わるかもしれませんね。

――映画の「セーラームーンS」

●武内直子●3月15日生まれ。うお座のA型。山梨県出身。主な作品は「Theチェリー・プロジェクト」、「ま・り・あ」、「コードネームはセーラーV」、「美少女戦士セーラームーン」など。

名夜竹姫子

今回の映画の制作に先だって、武内先生によって、ここに掲載したキャラクター原案が描かれた。これをもとにアニメスタッフが、アニメの設定を作ったのだ。名夜竹姫子については、バストアップと全身が描かれた。衣装は、白衣姿と濃紺のスーツ姿が描かれている。また、瞳はすみれ色、髪はサラサラのストレートなど、先生から指示されている。

は、テレビの「セーラームーン」にくらべると、たいへんに女性的な作品という印象を受けました。

武内　もし、テレビの「セーラームーン」が女性的でないと感じられるなら、それはアニメ版のスタッフに女性が少ないからでしょう。わたしは女性ですし、いつも少女マンガを描いていますから、特別にいつもと違ったふうに「セーラームーン」を描いてはいません。それから、テレビの「セーラームーン」とくらべて何かちがうと思われたとすれば、映画が原作に近いかたちだからではないでしょうか？　原作に忠実に作ってくださって、とても嬉しいです。テレビは、ほぼ同時進行なので原作との連動がうまくいかないこともあるので、今回の映画版には満足しています。

──原作をお書きになるうえで、とくに力を入れられた点などありましたら、教えてください。

武内　最近、「セーラームーン」本編であまり描いていない「愛」の部分です。

──四十五億年前に、スノー・カグヤをはじきとばした光とは、誰が放ったものなのでしょうか。

武内　それはきっと、クイーン・セレニティの御先祖さまでしょう。

──最近の「セーラームーン」の状況について、思われていることを教えてください。

武内　……もう、お母さんの手をはなれて、とっくにひとり立ちしてるのよね……。

◀「──かぐや姫の恋人」の進行本のイラストより

◀キャラクター原案では、翔は胸にＩＤカードをつけている。

宇宙 翔

ルナの片思いの相手である宇宙翔は、心優しいロマンチストだ。髪と眉が、白に近い色になっているのは、彼がからだが弱く、病気がちであることを表現するため。キャラクター原案として描かれたコスチュームは、ここに掲載した黒いシャツと白衣のみだ。また、キャラクター原案の段階では、翔が29歳、姫子が22歳と設定されていた。

ルナの人間の女の子姿

映画のラストに登場する、人間の姿に変身したルナ。髪の毛がルナの体と同じ色なのに、気がついたかな？　首に巻いているのは、宇宙柄にもなったリボン。黒いスカートは、オーガンジーのやわらかい布地だ。武内先生の説明によれば、この姿のルナの外見は、うさぎよりも1歳くらい年下で、からだつきは、かなりスレンダーだ。

▲人間姿のルナ。単行本の武内先生のイラストより。

気になるあの場面をコマ送りっ！

今回の映画版では，アクション以外にも，うさぎちゃんのユカイな表情，ルナの変身など，印象的な場面がたくさんあった。そんな映像をコマ送りで楽しんじゃおう。

★うさぎちゃん怒る！ その❶

うさぎは「ルナをいじめたんじゃないの？」と聞かれて，「ルナをいじめたりなんか，してないも〰〰ん！」と，怒り出す。そうだよね。いつもしかられてるのは，うさぎのほうだもんね。背景の変化と，髪の毛の動きに注目！

★うさぎちゃん怒る！ その❷

気になるあの場面を コマ送りっ!

今回の映画版では，アクション以外にも，うさぎちゃんのユカイな表情，ルナの変身など，印象的な場面がたくさんあった。そんな映像をコマ送りで楽しんじゃおう。

うさぎちゃん怒る！ その①

うさぎは「ルナをいじめたんじゃないの？」と聞かれて，「ルナをいじめたりなんか，してないも〜〜ん！」と，怒り出す。そうだよね。いつもしかられてるのは，うさぎのほうだもんね。背景の変化と，髪の毛の動きに注目！

うさぎちゃん怒る！ その②

「モ〜〜！　ドジで，おっちょこちょいで，なきムシだって，いっつもイヤミいわれているのはあたしのほうなんですからね」と，うさぎそのセリフに合わせて，「ドジ」「おっちょこちょい」「なきムシ」と書かれたフキダシが飛んでくる，とってもユカイな場面。最初のコマで，うさぎが「モ〜〜」というと，背景に牛が現れるというのも，なかなか凝っている（わかる？　牛の鳴き声が「モー」だからだよ　いわれなくても，気がついた人はエライ！）。

セーラープルート華麗なる戦い

街での戦い。セーラープルートは，スノーダンサーの攻撃を避け，ジャンプ！ガーネットロッドを回転させながら，空中から反撃する。グンとロッドを振るうと，一瞬だけ，ロッドを握った指がアップになる（5コマめ）。印象に残る，ダイナミックなアクションだ。写真の6，7，8コマめで，プルートの手前に見えるのは，激しく動いたロッドの残像だ。

セーラープルート華麗なる戦い

街での戦い。セーラープルートは，スノーダンサーの攻撃を避け，ジャンプ！ ガーネットロッドを回転させながら，空中から反撃する。グンとロッドを振るうと，一瞬だけ，ロッドを握った指がアップになる（5コマめ）。印象に残る，ダイナミックなアクションだ。写真の6，7，8コマめで，プルートの手前に見えるのは，激しく動いたロッドの残像だ

「モ〜〜！　ドジで，おっちょこちょいで，なきムシだって，いっつもイヤミいわれているのはあたしのほうなんですからね」と，うさぎ。そのセリフに合わせて，「ドジ」「おっちょこちょい」「なきムシ」と書かれたフキダシが飛んでくる，とってもユカイな場面。最初のコマで，うさぎが「モ〜〜」というと，背景に牛が現れるというのも，なかなか凝っている（わかる？　牛の鳴き声が「モ〜〜」だからだよ。いわれなくても，気がついた人はエライ！）。

★うさぎちゃん ルナに説教する

細かく説明しちゃおう。まずは、ジト〜ッとルナを見て、(1コマめ)、「ヘーンだ」といいながらタコヤキにヨウジを刺して(3コマめ)、「恋をしたことのない……」といいながらタコヤキを振って(4、5コマめ)、「わかりませんよ〜だ」といい終えたところで、パクッと口に入れてモグモグ(6〜8コマめ)。

ルナにしかられた、うさぎは「ヘーンだ。恋をしたことのないルナなんかに、恋する女の子の気持ちなんか、わかりませんよ〜だ」とタコヤキを食べながら、いい返す ポーズと表情が、ユニーク!

★がんばれ! ジュピターちゃん

★うさぎちゃん ルナに説教する

ルナにしかられた、うさぎは「ヘーンだ。恋をしたことのないルナなんかに、恋する女の子の気持ちなんか、わかりませんよ〜だ」とタコヤキを食べながら、いい返す。ポーズと表情が、ユニーク！

細かく説明しちゃおう。まずは、ジト〜とルナを見て、(1コマめ)、「ヘーンだ」といいながらタコヤキにヨウジを刺して(3コマめ)、「恋をしたことのない……」といいながらタコヤキを振って(4、5コマめ)、「わかりませんよ〜だ」といい終えたところで、パクッと口に入れてモグモグ(6〜8コマめ)。

★がんばれ！ジュピターちゃん

映画クライマックスの戦闘シーンから。セーラージュピターらしい，勇ましく，凜々しいアクションシーン。次々とスノーダンサーが攻撃をしかけてくるために，セーラー戦士は必殺技を放つタイミングをつかむことができない。ジュピターは果敢にも，素手でスノーダンサーに立ちむかう。さすがはセーラーチームでも随一のパワーの持ち主だ！　だが，背後でマーキュリーが敵に捕らえられてしまったのに驚いて，ジュピターにスキができてしまった。そのスキをつかれて，スノーダンサーの連続攻撃を受けてしまう……。TVシリーズでは見られない，映画ならではの密度の高いアクション。

★ルナの災難 その①

小瓶のポプリをとりだそうとしたが、フタが固くてなかなかとれない。思いきり力をいれたら「ポン！」とフタは開いたけれど、勢いあまってルナは落下。しかし、災難はこれで終わりではなかった(ルナの災難 その②に続く)。

ルナの災難 その❶

小瓶のポプリをとりだそうとしたが、フタが固くてなかなかとれない。思いきり力をいれたら「ポンー」とフタは開いたけれど、勢いあまってルナは落下。しかし、災難はこれで終わりではなかった（ルナの災難 その②に続く）。

映画クライマックスの戦闘シーンから。セーラージュピターらしい，勇ましく，凛々しいアクションシーン。次々とスノーダンサーが攻撃をしかけてくるために，セーラー戦士は必殺技を放つタイミングをつかむことができない。ジュピターは果敢にも，素手でスノーダンサーに立ちむかう。さすがはセーラーチームでも随一のパワーの持ち主だ！　だが，背後でマーキュリーが敵に捕らえられてしまったのに驚いて，ジュピターにスキができてしまった。そのスキをつかれて，スノーダンサーの連続攻撃を受けてしまう……。TVシリーズでは見られない，映画ならではの密度の高いアクション。

★ルナの災難 その②

ネコらしく、鮮やかに着地をきめたルナ。だけど、ポプリの小瓶が落ちてきて、ルナの頭に命中！ うわ〰〰、これは、痛そうだね。だけど、望んでいたポプリまみれになれたんだから、結果オーライかな？ 写真にあるように、小瓶がぶつかったときに「ごん!!」という文字が画面いっぱいにでるのだけど、これはほんの一瞬。気をつけて見ないと気がつかない。

★プルートのキメポーズ

スノー・カグヤの前に太陽系外周の３戦士が登場するシーンで，「時をつかさどるセーラープルート。この愛すべき地球を，あなたの思い通りにはさせません！」とキメゼリフ&キメポースを披露した。じつは，彼女のキメゼリフ&キメポーズのパターンは，これが初登場だった。キメゼリフの最後に振り返ってキメるのは，ウラヌス，ネプチューンと同じだ

ルナの災難 その②

ネコらしく、鮮やかに着地をきめたルナ。だけど、ポプリの小瓶が落ちてきて、ルナの頭に命中！　うわ〜〜〜、これは、痛そうだね。だけど、望んでいたポプリまみれになれたんだから、結果オーライかな？　写真にあるように、小瓶がぶつかったときに「ごん!!」という文字が画面いっぱいにでるのだけど、これはほんの一瞬。気をつけて見ないと気がつかない。

プルートのキメポーズ

スノー・カグヤの前に太陽系外周の3戦士が登場するシーンで、「時をつかさどるセーラープルート。この愛すべき地球を、あなたの思い通りにはさせません！」とキメゼリフ&キメポーズを披露した。じつは、彼女のキメゼリフ&キメポーズのパターンは、これが初登場だった。キメゼリフの最後に振り返ってキメるのは、ウラヌス、ネプチューンと同じだ。

うさぎちゃん　まもちゃんに甘える

湖のほとりでルナのことを話す、衛とうさぎ。衛が「あんまりベタベタくっついて、詮索しちゃ、かわいそうじゃないかな」というと、「まもちゃん、それって、それって……わかった。まもちゃん、あたしがそばにいるのって、わずらわしいんだ！」と、うさぎはスネたふりをしちゃう。ウルウル目で衛を見る表情（3コマめ）も、イジケたポーズ（6コマめ）も、とってもナイス。映画版「S」には、うさぎの百面相的なユカイな表情がたくさんでてきたが、そのなかでも、このうさぎの表情は傑作！

うさぎちゃん まもちゃんに甘える

湖のほとりでルナのことを話す、衛とうさぎ。衛が「あんまりベタベタくっついて、詮索しちゃ、かわいそうじゃないかな」というと、「まもちゃん、それって、それって……わかった。まもちゃん、あたしがそばにいるのって、わずらわしいんだ！」と、うさぎはスネたふりをしちゃう。ウルウル目で衛を見る表情（3コマめ）も、イジケたポーズ（6コマめ）も、とってもナイス。映画版「S」には、うさぎの百面相的なユカイな表情がたくさんでてきたが、そのなかでも、このうさぎの表情は傑作！

★ルナ、愛のメイクアップ！

思いが通じて，月の光のなかで人間に変身していくルナ。光り輝きながら，からだがゆっくりと回転していく。最後に額の三日月から光が放たれて，するすると髪の毛がのびて，彼女の変身は完了する。あの三日月の光は何だろう。やっぱり，額の三日月にはなにか秘密があるみたいだ。この後，瞳の色が髪の毛と同じ（つまり，ネコのときのからだの色と同じ）紫色にかわるんだ。

★うさぎちゃん、デヘヘと笑っちゃう

アルテミスがルナのことを好きだということを知って驚き、そして、デヘヘ～と笑う、うさぎちゃん。これまた、うさぎならではの、とってもハデな表情の変化だ。中でも、驚いた表情から笑った顔にかわる途中の、ユカイなアクション（3コマめから5コマめ）にも注目。このアクションも、時間にすると、ほんの一瞬だ。

うさぎちゃん、デヘヘと笑っちゃう

アルテミスがルナのことを好きだということを知って驚き、そして、デヘへ〜と笑う、うさぎちゃん。これまた、うさぎならではの、とってもハデな表情の変化だ。中でも、驚いた表情から笑った顔にかわる途中の、ユカイなアクション（3コマめから5コマめ）にも注目。このアクションも、時間にすると、ほんの一瞬だ。

ルナ、愛のメイクアップ！

思いが通じて，月の光のなかで人間に変身していくルナ。光り輝きながら，からだがゆっくりと回転していく。最後に額の三日月から光が放たれて，するすると髪の毛がのびて，彼女の変身は完了する。あの三日月の光は何だろう。やっぱり，額の三日月にはなにか秘密があるみたいだ。この後，瞳の色が髪の毛と同じ（つまり，ネコのときのからだの色と同じ）紫色にかわるんだ。

誕生！スノーダンサー

スノー・カグヤの吐いた息が、回転する雪の固まりとなり、それがスノーダンサーとなっていく。スノーダンサーは、カグヤの息から生まれるのだ。人の姿になったスノーダンサーは、パッと手をひろげ、優雅にゆっくりと回転する（7コマめ、8コマめ）。

誕生！スノーダンサー

スノー・カグヤの吐いた息が、回転する雪の固まりとなり、それがスノーダンサーとなっていく。スノーダンサーは、カグヤの息から生まれるのだ。人の姿になったスノーダンサーは、パッと手をひろげ、優雅にゆっくりと回転する（7コマめ、8コマめ）。

セーラーチーム追っかけ隊'94

今回も，アフレコやイベントなど，映画公開前後の声優さんの動きをテッテーテキに追っかけてみたぞ！

▲西武新宿駅のオープニングセレモニー。右側に止まっているのがセーラームーンSエクスプレスだ。

発進！セーラームーンSエクスプレス（十一月二十九日）

東京の西武新宿駅から、埼玉県の西武遊園地まで、映画版の「S」公開を記念して、セーラームーンSエクスプレスというイベント列車が走った。列車そのものは、普通の車両を、セーラームーンのステッカーなどをいっぱい使い、豪華に装飾したものだ。五万人の中から抽選で選ばれた、千五百人のファンが、乗ることができたんだ。

出発に先がけて、西武新宿駅のホームでオープニングセレモニーが行われた。セーラーチームの五人の声優さんによるテープカットに引き続き、セーラー戦士着ぐるみによる、くす玉わり。三石さんは車掌の扮装だったのだが、写真を見てもおわかりのように、これがなかなかのお似合いだった。

声優さんを乗せて、エクスプレスは朝の九時に東京の西武新宿駅を発車。エクスプレスのなかでは、三石琴乃さんの声による車内アナウンスが流れ、また、着ぐるみさんとお客さんが握手をしたり、ジャンケン大会をやったりといった、楽しい企画が行われた。

十時近くに、目的地の西武遊園地駅に到着。声優さんと列車に乗っていったお客さんは、そのまま西武園ゆうえんちになだれこんでいった。

▲これは貴重！ セーラー戦士の声優さんと、それぞれのキャラクターの着ぐるみさんの2ショット。声優さんもうれしそうだ。着ぐるみのうさぎの仕草がアニメにそっくりなので、声優さんもびっくりしたぞ。

▶着ぐるみさんも乗って、イベントに参加したんだ。

遊園地でスペシャルイベント（十二月二十九日）

セーラームーンSエクスプレスの誕生を記念して、同じ日に「美少女戦士セーラームーンSスペシャルイベント」が西武ゆうえんちで行われた。

内容は、五人の声優さんのトークと、着ぐるみによるキャラクターショー、そして、朝川ひろこさんによる主題歌の披露。時間はけっして長いものではないが、もりだくさんの構成だった。トークコーナーでは、映画版の『S』についての話もきくことができた。キャラクターショーは、セーラームーンのニセ者である、セーラームーンダークが登場するユカイなものだった。

▲舞台上で、5人の声優さんによる、アフレコの再現も行われた。

▲着ぐるみさんの活躍に、三石さんも感心！

▲朝川ひろこさんは、映画版の歌をきかせてくれた。

▲深見梨加さんは、ふだんのノリも美奈子みたい？

アフレコスタジオでハッピーバースデー？（十一月六日）

映画版のアフレコは、十一月六日に、録音スタジオのタバックで行われた。今回の声優陣は、いつものメインキャストにくわえて、『ルパン三世』の峰不二子役で知られる増山江威子さん、『らんま1／2』のらんま役で知られる人気声優の林原めぐみさんといったゲストをまじえたメンバーだった。収録には、原作者の武内直子先生や、脚本の富田祐弘さんもかけつけた。

また、この日は、ちびうさ役の荒木香恵さんの誕生日でもあった。映画のアフレコは、ふだんのテレビの収録とちがい、長い時間かかるので、途中に食事をとるための休憩があるのだが、その休憩時間をつかって、キャスト全員によって、ミニバースデーパーティがひらかれた。終始なごやかなムードの収録だった。

1荒木香恵（ちびうさ役）、2菊池正美（宇宙翔役）、3三石琴乃（月野うさぎ役）、4増山江威子（プリンセス・スノー・カグヤ役）、5武内直子（原作者）、6潘恵子（ルナ役）、7林原めぐみ（名夜竹姫子役）、8古谷徹（地場衛役）、9篠原恵美（木野まこと役）、10富沢美智恵（火野レイ役）、11久川綾（水野亜美役）、12深見梨加（愛野美奈子役）、13勝生真沙子（海王みちる役）、14川島千代子（冥王せつな役）、15緒方恵美（天王はるか役）、16増谷康紀（アナウンサー役）、17幸野善之（報道陣役）、18小野寺麻理子（スノーダンサー役）、19永島由子（スノーダンサー役）、20芝田浩樹（監督）、21高戸靖広（アルテミス役）、22麻生智久（アナウンサー役）

史上最大のセーラームーンイベントだ！（十二月十八日）

「セーラームーン」の、もっとも大きなイベントとして企画されたのが、東京ベイN・K・ホールで行われた「セーラームーンS史上最大のクリスマスパーティ」。タイトルもすごいが、内容も、タイトルにまけずに豪華なものだった。

ミュージカルのメンバーによるミニライブ、声優さんのスペシャルショー、着ぐるみのミュージカル仕立ての芝居、朝川ひろこさんの歌、という構成。つまり、"ミュージカル""声優""歌""着ぐるみ"と、様々なジャンルの「セーラームーン」を、舞台のうえで一度に見ることができるという趣向の、イベントだったんだ。

声優さんのスペシャルショーでは、舞台劇、トークショー、アフレコ再現が行われた。劇は、声優さんたちが、それぞれのキャラクターを素顔で演じるという、画期的なものだった。しかも、声優さんたちは、サンタ、タキシード、天使、ドレス、巫女さん、トナカイと、それぞれが個性的なコスチュームで舞台に登場。

アフレコ再現のコーナーでも、タキシード仮面役の古谷徹さんが、バラの花を投げたり、それぞれのキャラクターが、必殺技を、フリつきで叫んでくれたりと、じつにサービス満点。もちろん、集まったファンも大喜びだった。

▲古谷さんの演じるタキシード仮面はうさぎたちに、花束をプレゼント。

▲久川さんは"トナカイのかっこうをした亜美"を演じた（笑）

▲三石さんと富沢さんは、おなじみの「ベベベのベ〜〜ッ！」を舞台で披露！

◀緒方&勝生コンビはハデに登場！

▲"天使姿の美奈子"がツリーから登場!?

▲女性ファンの人気が高い、はるか役の緒方さん

▲それにしてもスゴイ、衣装だね。

◀「ファイヤー・ソウル！」。アフレコ再現はポーズつきだ

▲劇の衣装のまま、トークコーナーに。

▲フィナーレは、ミュージカルキャスト、声優、着ぐるみが勢ぞろい。

▲劇の途中、観客に向かって手をふるセーラー戦士のみなさん。

詳しくは次のページを見てね

マンガ／豊島ゆーさく

クリスマスも近い十二月中旬、東京ディズニーランドのとなりにある、巨大な東京ベイNKホールは、ファンの熱気でわき返りました。

広い会場は、家族連れとなかよし読者と、大きなお兄さんたちとでいっぱい！「セーラームーン」ファン層のはば広さを、もの語っていますねー。

こんにちは！

わー

わー

わー

ワー

ショーの一幕目は、着ぐるみショーからでした。そーゆーのは、小さなお子さまの見るものと思っていたアナタ──。

それは考えがアマい！

おおっ

フラッシュとスモークを使った早変わりの変身シーンまである、ゴーセーなモンでしたよ。

バカでかい背景は、物語が進むと十番商店街から宇宙背景に切りかわるぞ！

敵の「アクーマ族」ッてのはスゴいが

ちっちゃい子が本気になって応援しているのは見ていて楽しいですね
セーラームーンがんばってー
必殺ワザは煙と照明で表現する。
バーニングマンダラー
シャインアクアイリュージョンッ
ヴィーナスのラブミーチェーンはクモの糸投げでした
カブキかいあたしゃ
近ごろの着ぐるみショーはアニメ版のファンもナットクするノリみたい一度ごらんになってみてはいかが?
そして! ショー第二幕はお待ちかね声優さんたちの登場! 場内ドッと沸きます。
メリ〜〜クリスマ〜ス
きゃはははは
みんな元気であたしゃうれしいョ
あはははははは
妙に着ぶくれたオーバーオールの三石さん登場!!
ワーーーーワ
それは、声優さんたちが生身でキャラクターを演じるという、世にも珍しい舞台でした!
クリスマスなのに寝てるなんてやだぁ〜っ
カゼひいてるのにワガママ言わないでよッ
ちびサンタの扮装の荒木さん。かわいくて、ちびうさそっくり!!
富沢美智恵さんが、巫女さんの衣装で登場。場内おどろきと拍手の嵐!!
ちびうさちゃんあんまりしかったらかわいそーでしょ!
おーっ!

篠原恵美さんは、まこちゃんらしく、ケーキささげて歌いながらご登場。
サーイレンナーイ…
ホォーリナーイ…
その華麗なドレスに、どよめく観客！
おーっ
わーっ
そして…「亜美ちゃんと美奈子ちゃんが、まだ来ないね。」とフッてるそばから
鳴りひびく鈴の音!!
シャンシャンシャンシャーンシャーンシャーン
なんと久川綾さん、トナカイの着ぐるみで登場！
あまりのことに、一瞬しずまりかえる場内(笑)!!
ちびうさちゃんさびしがってるって聞いたもんだから
よろこんでもらおうと思って……
亜美ちゃん…たのしい？
クセになりそう…
場内大ウケ。
わーーッ
久川さーーん
それどころじゃない。大道具と思われてたクリスマスツリーが、実は、深見梨加さんだったという、意外な展開(笑)!!
ほほほほほ
あたしはさっきから
ここにいたのよーー!!
わあッ
深見さん、ツリーから天使のカッコで登場。うわーすごい。
ここ あたしんちなんだけど なんでいるの？
みんなをおどろかそーと思って あたしゃゆうべからずっといたのよ！
美奈子ちゃん その羽根まさか…フォボスとディモスの…
ちがうでしょ エンジェルよ エンジェル!!
と、そこへ
ちょっと待った 私を忘れてもらっては困るなフフフ…
はっ！その声は!!
星飛雄馬！
父ちゃん おれはやるぜ…
違う！
アムロ レイ！
セイラさん 行きまー…
違う！

出前坊や!!

古谷さん登場!

悪かったじょ〜〜〜…。違うってば

そして、ハデに勝生さんと緒方さんが現れるにいたって、場内の興奮はまさに最高潮。

わー

なかなかステキなパーティね

たのしそうだナ

じゃ〜〜〜ん

キャーーッ

緒方ファンの女の子たちの声

勝生さんは、王侯貴族風絢爛ドレス。

べんばら風たてカール

そして緒方さんは、実写映画の「セーラームーン」があったとしても、はるか役をそのまま演じられそーな、華麗なタキシード姿。

すると三石さんが

みんなぁいいなぁカッコよくって…あたしも変身しまぁす!

ムーンクリスマスパワー…

…メイクアップ……

よいしょよいしょ

ぬいでいる

三石さんは、服の下に、セレニティ風ウェディングドレスを着こんでいたのでした!

ぢゃらん!

しかし、カッコよくシャインアクアイリュージョンを放つトナカイに、場内爆笑のウズ！
シャイーンアクアー
イリュージョン
そして…お別れのあいさつ
ウェディングドレスを仕事で着ると婚期が遅れるっていうけど…
そんなことなーーい
えーー ぼくのかわいい子猫ちゃんたち……
キャーッ
おんなのこたちのこえ
そしてかわいいオス猫ちゃんたちありがとう
オーーッ
緒方さんナイスなシメ(笑)
その後は、劇場版映画の歌を朝川ひろ子さんが歌われ、第三幕は、さくらっ子クラブのミニライブ!!
スタイル最高歌もバツグンの大変な迫力でしたちびうさ役ダブルキャストの子役もカワイイ！
そして最後は、着ぐるみ、声優さん、さくらっ子の面々と、三大セーラーチームが勢ぞろいのフィナーレ。
アタマでかい
またこんなイベントがひらかれるといいですね。

研究！ 原作とアニメを徹底比較!!

名夜竹姫子

今回の映画版「美少女戦士セーラームーンS」は、武内直子先生の「美少女戦士セーラームーン――かぐや姫の恋人」を忠実に映像化する方針で作られた。だが、いくら原作に忠実にといっても、アニメとマンガという、メディアとして表現方法のちがいはある。細かいところでは、いろいろとちがいができている。ここでは、この作品に関する、アニメと原作のちがいをチェックしてみよう。

まず、今回の重要なキャラクターの一人、姫子だ。

いちばんのちがいは、原作では姫子は翔と幼なじみであり、小さいころから、二人で宇宙に行って、かぐや姫に会うことを夢みていたということ。したがって、原作では、翔が宇宙にロマンを感じる夢みがちな青年で、姫子がリアリストという図式はない。

アニメでは、月の女神の存在など信じない姫子が、宇宙空間で女神と思われる光を目撃して、翔のいっていたことを信じる……と展開するが、原作では、姫子にとっても、〝宇宙に行って、かぐや姫に会う〟ということは、子どものころからの夢なのだ。

翔と姫子が互いの愛を確かめあうのが、アニメでは姫子が地球に帰ってからで、原作では宇宙に行くまえであるというのも、ちがう点だ。

また、原作では、姫子は一度、ルナ・フロンティア計画のクルーに最終選考で落ち、挫折を味わうが、その後に、計画の目的変更にあわせてクルーに選ばれるというドラマも織り込まれている。

宇宙翔

宇宙翔は、宇宙開拓事業団に所属しつつ、宇宙観測所で働いている。しかし、観測所には他のスタッフの姿はなく、彼はそこに一人で、住みこんで働いているようだ。そのため、アニメ版の翔は、たった一人、天文台で星をみながら暮らしている、浮き世ばなれしたロマンチストという印象が強い。原作では、宇宙開拓事業団の本部で、他のスタッフといっしょに働いている。

アニメでは、翔はもともと病弱で宇宙飛行士になるのをあきらめたのだったが、とくに、現在、重い病気にかかっ

メイキングオブ 映画「美少女戦士セーラームーンS」～原作からアニメーションへ～

じつは、原作者・武内直子さんのマンガをそのまま映画にしようというプランは、前年に公開された劇場1作目の「美少女戦士セーラームーンR」の時点からあった。だが、そのときは、スケジュールの関係で実現せず、2作目の今回の作品ではじめて、武内直子さんの書きおろしストーリーを、劇場アニメにすることができたのだ。

実際の作業としては、いちばん最初に武内直子さんによって、ストーリーとキャラクターの原案が描かれ、それにそったかたちで、脚本、キャラクターデザインや美術設定が書かれて、アニメーションの制作がスタートした。アニメーションの制作が進むのと同時進行で、武内直子さんによって原作「美少女戦士セーラームーン――かぐや姫の恋人」が描かれていった。

ストーリー案に忠実に作られたのに、どうしてアニメと原作にちがうところが、あるのだろうか。アルテミスの描写やセーラーチームの描写など、アニメーションスタッフが、ストーリー案をふくらませたために、生まれたちがいもある。また、原作が描かれる過程で、武内さん自身がストーリー案から内容をふくらませており、最初の原作とストーリー案とでも、ちがいが生まれている。それらの理由で、アニメと原作には、ほんのすこしちがうところがあるのだ。

武内先生の原作でロマンチックに

東伊里弥（企画）

昭和38年1月19日、東京都生まれ。「セーラームーン」はテレビの企画段階から参加している。

今回は、最初から武内先生の作られたお話を映画化しよう、と思っていました。一作目の劇場版は、野球にたとえれば直球でしたが、今回はルナの恋の話を中心にしたロマンチックな話で、ちょっと変化球になっています。一作目より、テレビシリーズの、エピソードに近いかもしれませんね。

いちばん重点を置いた点は、なるべく先生の意図をくむように、映像においても、ルナをじっくり描き込んでいくことです。ルナが描けなければ、おもしろい作品になりません。作画監督の香川久さんたちも、がんばってくれたと思います。

ちびうさのメイクアップ・シーンは、どうしてもほしかったシーンです。あの劇場版を公開したころは、テレビでちびうさのメイクアップ・シーンを出していなかったので、子どもたちのためにも、劇場でぜったいにやらなくちゃいけないと思い、監督の芝田浩樹さんに頼んで入れてもらったんです。ぼくも、劇場で観客の反応を見たんですが、小さい子どもたちが喜んでくれて、うれしかったですね。「セーラームーン」のなかでも、ファミリー向け作品の代表になったといえるでしょう。

ているわけではない。スノー・カグヤの結晶のために、衰弱し、苦しむことになる　原作では、彼は心臓の病気にかかっており、後半て、翔が倒れる直接の原因は、病気である

ルナとアルテミス

翔や姫子にくらべると、今回の主役のルナに関して、アニメと原作で、それほと大きなちがいはない　とくに、恋するルナの、少女のようなピュアなようすは、アニメも原作も同じようなニュアンスで描いている。相棒のアルテミスに関しても、描かれかたは、ほぼ同じ。ただ、アニメのほうが、アルテミスがルナを心配する描写は多く、ドラマのなかでアルテミスが占める位置は、大きいといえるだろう。

また、原作には、翔が姫子のようすをみるためにNASAに行ったのを追って、ルナがアメリカに渡るという展開がある。このとき、ルナは勝手に飛行機の翼のうえに乗って、太平洋を横断している　ふつうの人間でも、とても飛んでいる飛行機のうえになんて立っていられない　それを、ルナは平気な顔をして翼のうえにいたんたから、すごい　やっぱり、彼女はフシキな力を秘めたスーパーキャットなのだ。

セーラーチーム

主役を、ルナにゆずったぶんだけ、セーラーチームの出番が少ないのは、アニメも原作も同じ。

凍りついた街でのスノーダンサーとセーラーチームの戦いは、映画前半の見せ場になっている。原作で、それに相当するのは、ネプチューンの力で、外部太陽系三戦士が宇宙へとテレポートし、宇宙空間において、スノー・カグヤと戦うシーンだろう。

アニメは、うさぎたちが街へショッピングに行ったところから物語がはじまり、原作は、美奈子とまことのバースデーパーティからはじまる。このバースデーハーティには、セーラーチームの面々や衛はもちろん、ふだんいっしょに行動することが少ない、はるか、みちる、せつなたちも参加している。はるかたちが、パーティへ行くしたくをする場面など、番外編ならではの楽しいシーンだった。ちなみに、まことの誕生日は十二月五日、美奈子の誕生日は十月二十二日。このバースデーパーティは、そのあいだをとって、十一月に行われたものと思われる。

また、セーラーチームの面々が、ルナが恋しているのではないかとウワサ話をするシーンで、アニメでは、美奈子が、アルテミスが傷つかないように思いやりのある発言をし、原作では、もっとしっかりしろと、キビシクアルテミスに接しているのが対照的で、おもしろい。

スノー・カグヤ

プリンセス・スノー・カグヤは、アニメと原作で、設定自体に微妙なちがいがある。

まずアニメでは、カグヤは、地球を

凍りつかせるために、世界各地に結晶をばらまいたようだが、原作では地球征服の作戦のために、結晶をバラまいたわけではないようだ。

原作冒頭には「わたしの最初の、カケラ（＝結晶）を、手にしたあなた。あなたがわたしの永遠の伴侶」というカグヤのセリフがあり、宇宙から落ちてきた結晶を、翔が手にするところから物語がはじまる。カグヤはいっしょに地球を支配する夫を求めて、結晶を地球に送ったのだろう。彼女は翔を夫にしたかったのだ。何億年も宇宙でひとりぼっちだったカグヤは、同様に孤独な思いをもっていた翔に、惹かれていったようだ。原作では、そういったカグヤの内面にもふれられている。

スノー・カグヤの正体は星の精霊のようなものと思われるが、詳細は不明だ。ただし、その正体について考える手がかりは原作のほうが多い。カグヤは、太陽系について「この太陽系は、もともと、わたしのもの。——わたしの分身——四十五億年まえ——わたしが君臨するはずだった星系」と語っている。原作の前半で、翔も、「彗星から飛来した結晶について調べれば、太陽系発生のナゾが、いっきに明かになるぞ」といっている。やはり、カグヤと彗星か、太陽系の成りたちと関係があるのだろう。アニメでは、そのようなカグヤの正体を想像させる描写は、あまりない。

▲物語の後半、翔は心臓の病気で倒れ、生死の境をさまよう

クライマックス

後半の展開について比較しよう。

アニメ版では、天文台のシーンで、ルナが自分の翔への悲しい思いを、うさぎに打ちあけるシーンが、ポイントだ。そのあと、スーパーセーラームーンに変身して、スノー・カグヤと対決するシーンで、うさぎは、「人間は苦しいことがあるからこそ、生きている価値がある」といった内容のことを、カグヤにいう。これは、ルナの気持ちを受けとめた、うさぎが、自分なりにだした解答だ。この部分のセリフは、アニメ版だけのものであり、テーマともいえるものだ。ルナの、恋するピュアな心にはげまされて、セーラームーンはスノー・カグヤに立ちむかったといっていいかもしれない。

アニメでは、伝説の愛と友情の力、シルバークリスタルパワーで、最終的にスノー・カグヤを倒すことになる。この技も、また、アニメのオリジナルの技だ。

原作のクライマックスのドラマはこうだ。病院に入院していた翔の容体が、悪化していた。姫子が宇宙に行くことができたというニュースをきけば、翔は元気をとりもどせるかもしれない。しかし、スノー・カグヤによっておこされた磁気嵐と吹雪のために、姫子のスペース・プレーンの発進が中止になってしまいそうになる。セーラームーンたちの活躍によって、カグヤが倒されて、スペース・プレーンは発進することができたのだが、翔は意識をとりもどさない。そこで、セーラームーンが聖杯と幻の銀水晶の力で、ルナを人間に変える。人間の姿になったルナは、翔を勇気づける。原作では、翔に対する、ルナと姫子の思いがドラマのポイントのひとつになっている。

▶姫子が宇宙に旅だつまえに、愛を確かめあう姫子と翔。原作の二人の関係が、よくわかるシーンだ。

▲原作のスノー・カグヤは、孤独な心をもつ翔を、愛していたようだ。

◀セリフに注目 プルートはどうやらカグヤの正体に気づいたらしい。

▲原作では、姫子の前にセーラームーンの姿で登場！

アニメでは、姫子は宇宙空間で女神と思われる光を目撃して、翔のいっていたことを信じる。原作では、姫子は、最初から月にかぐや姫がいるかもしれない、という夢をもっているので、当然、その展開はない。原作のそれに相当するシーンで、姫子は、夢にみた月を目の前に、いつか翔とともに月にくることを願う　そして、その場面で、自分のおなかのなかに、翔とのあいだにできた子どもがいるらしいことを、思わせるセリフを口にする。

この物語に関して、姫子のあつかいが、アニメと原作でいちばんちがうところかもしれない。アニメでは、宇宙に神秘的なものを信じていなかった姫子が、その考えを変えるというドラマを描くために、彼女をやや冷たい感じのする女性として描いている。原作では、姫子は翔と同様にみずみずしい感性をもった、魅力的な女性として描きっている

ラストシーン

空港で、姫子と翔に、ルナがコンベイトウを、翔にもらったリボンで結んで投げるくだりは、アニメのオリジナル。原作では、アルテミスはルナが帰ってくるのを、うさぎの家の前で待っている。このシーンでもルナは、翔にもらったリボンをもったままだ　原作のルナは、思い出の品として、ずっとリボンをとっておくのかもしれない

ここまで、部分部分におけるちがいをみてきたか、全体としてみても、原作のほうが場面の数が多く、アニメのほうが個々のシーンをじっくり描こうとしている　あるいは（これは、この映画にかぎったことではないが）、アニメのほうがアクションシーンの描写が多い、などのちがいがある

もちろん、アニメも、原作もそれぞれのメディアの特性を生かしたかたちで物語を作っており、どちらのほうが優れているとはいえない

▶原作では、レインボー・ムーン・ハートエイクで決着がつく　最後の戦いの舞台は、宇宙空間だ

▼ルナが人間になってからのシーンは、アニメとほぼ同じ　ただ、原作のほうが、翔の夢のなかで出会ったという印象が強い

五本の指に入るほどの大好きな作品です

富田祐弘（脚本）

昭和23年4月4日、埼玉県生まれ。代表作は「超時空要塞マクロス」「ビックリマン」。

武内先生の原作を、時間にまとめるために、原作の要素を取捨選択しなければならなかったのですが、どんなふうにまとめるか意見を交換していくなかで、だいぶ武内先生に譲歩していただけたと思います。ぼくとしては、武内先生がこういうお話を作られたと聞いた時点で、ルナのすてきな話がアニメにできるな、と楽しみにしていたんですよ。

ルナの話が中心なのですが、ルナの切ない思いを、うさぎがどう感じたか、というところを出すというのが基本にありました。あくまでも、主人公はうさぎ、ということを出すのがいちばん苦労した点です。

それと、敵が襲ってきて、うさぎが戦うという話と、ルナの話が別々になる危険性もありました。クライマックスの、スノー・カグヤとの対決シーンで、うさぎは、地球には片思いやいろんなことで苦しんでいる子たちがいる、ということをいいますね。このうさぎのセリフで、戦いとルナの思いとを、ひとつの話として表現できたと思います。

長い間、いろいろなアニメの脚本を手がけてきましたが、この劇場版は、自分のなかで五本の指に入る好きな作品です。

純愛ドラマとしての「セーラームーン」

芝田浩樹（監督）インタビュー

芝田浩樹

昭和35年5月7日，石川県生まれ。1981年東映動画に入社。テレビ作品としては新作「ひみつのアッコちゃん」「ゲッターロボ號」のシリーズディレクターをつとめる。劇場作品としては「ゲゲゲの鬼太郎　激突！異次元妖怪の大反乱」などで監督をつとめる。「セーラームーン」には，「R」の74話から，各話演出として参加。

——今回の映画版の話についてうかがう前に、芝田さんと「セーラームーン」の関わりについてうかがいたいんですが。

芝田　最初に参加したのが、テレビの「セーラームーンR」のルベウスが死ぬ話（七十四話）でした。一昨年の夏の終わりくらいから、実作業に参加していますね。

——参加なさって「セーラームーン」に対して、どんな印象をもたれましたか。

芝田　スタッフでいうと、若手の演出家が、非常によくがんばっているなと思いました。暴走しているというか、やりたいようにやっているというか。けっこう、若手のパワーに圧倒されましたね。内容的なことでいうと、キャラクターを把握するのが、たいへんでしたね。

——キャラクターの数が多いということですか？

芝田　ええ。数も多いですし、個々のキャラクターにそれまでのドラマがあるでしょう。それを把握するのに時間がかかりました。

——今回の映画の話に入りましょう。まず、参加することになったいきさつからうかがいたいんですが。

芝田　まさか、自分がやることになるとは思いませんでしたね。映画の監督をやらないかという話がきたのが、まだ、テレビの「セーラームーン」に参加して一年くらいしかたっていないくらいの時期だったんです。だから、ぼくが監督をやっていいのかな、セーラー戦士の活躍を中心にした内容だったら、ぼくでは力不足なんじゃないかなと思いました。だけど、武内先生がかいたプロットを読んでみたら、従来のキャラクターも登場するけれど、むしろ、映画だけのキャラクターに重点をおいた話だったんですよ。それにアクションよりも、ラブロマンスに力を入れている

これなら自分にできるだろうと思ったんです。とくに最後のアルテミスが待っているというのがシャレている。そこをうまく描けば、いい映画に仕上がるんじゃないかと思いましたね

——それでは、映画でもわりとラブストーリーであるところに重点をおいて作られたんですね。

芝田　純愛ものにしたいという考えはありました。最近、わりとすぐに好きになって、すぐにキスして、みたいな恋愛ものが多いじゃないですか。今回の映画版では、そうではない、奥ゆかしくて純なラブロマンスをめざしたんです。

——恋愛ドラマであることに関して、とくにふくらませた部分などはありますか。

芝田　自分のすきな女の子を、いつも見守り、待っている優しい男としてアルテミスを描いてやろう。そういうタイプの男を描いてみたいと思っていましたから。もっとアルテミスの出番は少ないはずだったんです。だけど、最初と最後にだけ出てくるんじゃなくて、ルナの気持ちを知ってガックリくるところとか、ルナを追っていく描写とかを入れておけば、ラストシーンが生きてくるだろう。他にも重要なキャラクターはいるので、アルテミスを描きこむと散漫になるのではないかという意見もあったんですけれど、ぼくの希望で、やらせてもらったという感じですね。

小道具としては、コンペイトウをいかにうまく生かすかということについて、みんなで考えました。それで、ルナが、自分がすきになった翔が恋人のところに戻っていくときに、「彼を、よろしくね」という気持ちをこめて、首にまいてもらったリボンを結んで、コンペイトウを彼女のところに投げてあげるということにしたんです。

——ルナの気持ちについては、どんなふうに、とらえていらしたんでしょうか。

芝田　すきになった相手を、その人が恋心を寄せている別の人とむすばれるようにしてあげて、自分は去っていく。そこまでいさぎよい行為が本当にあるのかどうかわからないですけれど、そういった、相手を思いやるかたちの愛情を表現したいと思いました。奪いとる愛情じゃなくて、与える愛情ということですかね。

それは、ルナだけじゃなくて、アルテミスの愛のありかたにも、つながっていくんですよ。

——全体に原作に忠実に作られたんですね。

芝田　そうですね。ただ、細かいところでは、すこしちがいがでてしまいました。ぼくらが作業をはじめたときには、原作のマンガはまだできていなくて、先生がかいたメモをもらって、それをベースにして作業を進めていたんです。原作のほうも、そのメモから変更を加えていったよ

▶アルテミスに関しては、物語に表面に出てこない思いや言動に注目しよう

うなので、結果的には、できあがった原作のマンガとアニメには、微妙なズレが生じているかもしれません。

——と、いいますと。

芝田 翔と姫子に関しては、すこしだけ雰囲気がちがっちゃったかもしれないですね。宇宙開拓事業団のあつかいに関しても変わっています。映画ではあまりシーンが変わると、見る人が集中して見られないんじゃないかという理由で、場面をあちこちに移さないで、限定して描くようにしたんです。翔は宇宙開拓事業団に所属しているんだけれど、天文台をまかされていて、ふだんは天文台にいるというかたちにしたんです。

——翔と姫子の関係が変わったというのは、具体的には。

芝田 具体的にといわれると難しいですね。セリフのニュアンスや様々なディテールで、性格がすこし変わってしまったかもしれないかな、ということです。

——今回の映画版は、前回の映画版「セーラームーンR」にくらべると、日常描写が多かったですね。

芝田 そうですね。ぼくはわりと、アクションよりも、日常的なちょっとした描写に力をいれるタイプなんです。今回の映画でも、洗面器の水でハンカチをしぼったりするような、そんなになにげない動作で、キャラクターの感情を表現しようとしたところも、あります。

——日常描写のなかでも、うさぎちゃんのコミカルな表情が、とくに印象的でした。

芝田 前作と比較ばかりするのはよくないかもしれないけれど、前作の映画版「セーラームーンR」は、監督の幾原（邦彦）くんにとって最初の劇場用作品ということもあって、かなりカッチリとした作りになっていましたよね。それで、ふだんのテレビシリーズとは、感じがちがったものになっていたと思うんです。それはそれでいいんですけれど、今回は前回とは趣向をかえて、なるべく、ふだんのテレビシリーズの感じを残して、そのうえで映画らしいところもだしていこう。そういうプランで、テレビシリーズでおなじみの、子どもたちに喜ばれるコミカルな描写をなるべく取り入れてみました。

BGMに関しても同様です。ウラヌスやネプチューンの登場の曲などは、新しく作ってもらってもよかったんですが、やはり耳になじんだ曲がいいだろうということで、テレビシリーズと同じものを使っています。セーラームーンやタキシード仮面登場の曲にしても、テレビ版のイメージを壊さないように、同じ曲を使っています。

——音楽の話を、もうすこし聞かせてください。

芝田 映画音楽に関しては、ストーリーの核になるキャラクターのテーマ曲を作っておいて、映画を見終わるころに、その曲が耳になじんでいるような使い方がすきなんですよ。

それで今回は〝ルナのテーマ〟、〝翔のテーマ〟、〝スノー・カグヤのテーマ〟を作ってもらいました。たとえば、ルナが中心になるシーンでは、〝ルナのテーマ〟の楽器や曲調などのバリエーションのちがうものがかかるというかたちです。それから、ラストはワーッと盛り上げたかったので、アメリカのハリウッド映画のようなものを意識してやってください、と注文しました。

——六十分しか時間がないわけですから、あれ以上つめこむのは無理だとはわかっています。でも、ファンとしては、セーラー戦士の活躍、とくにウラヌスたちの活躍を、もうすこし見たかった気もするんですが。

芝田 うーん。セーラー戦士のひとりひとりを、もっと描いていくと、物語を描く前に時間がなくなっちゃいますからね。やはり、映画の作り手としては、物語を描くのに集中しなくてはなりませんから。ああいうかたちにしました。

——では、この映画に参加なされての印象などをお願いします。

芝田 スケジュールは厳しかったですね。絵コンテをかきはじめたのが八月の前半で、十一月には試写会があったわけですから、実作業は、三ヵ月ちょっとです。

でも、今までは劇場版なんかだと、とにかくゴールにたどりつかなくちゃいけないという気分で、ガムシャラにやっていたんです。それを今回は、力を入れつつも楽しく仕事をしようと思ってやりました。今までの自分の仕事の集大成っていうと大げさですけれど、今まで自分が溜めていたものをバーッとだせたかなという感じです。

——今後は、「セーラームーンスーパーズ」に参加するわけですね。

芝田 テレビの「セーラームーン」は、若手のスタッフが多いですからね。「若いやつらに負けるもんか」という感じでがんばっていきます。

監督の絵コンテにみる名場面!

芝田さんが描いた絵コンテを，抜粋して掲載しよう。今回の映画の画面作りの特色は，カメラワークがほとんどないということ。これは，ひとつひとつの場面をじっくり見せようという配慮からだ。

ルナとアルテミスの恋について考えてみよう!

へえー、アルテミスってルナに恋していたんだ?
じゃあ、ルナはアルテミスのことを好きなの?
2人の恋の行方について声優さんの話を
ききながら、考えてみよう!

「セーラームーン」の代表的な恋人たちといえば、やっぱり、うさぎと衛のカップル。だけど、もう一組のカップルがいる。わかるよね? そう、ルナとアルテミスだ。うさぎと衛は、ずっと前からアツアツ状態だけど、こちらのほうはなかなか進展しないカップルだ。

子ネコのダイアナは、ルナとアルテミスの間にできた子どもだ。原作ではずっと前から登場しているし、アニメでも、テレビの「スーパーズ」になってから出てきているから、知っているよね。

つまり、未来の世界では、ルナとアルテミスは結婚しているんだ。だけど、いまのルナとアルテミスをみていると、本当にこの二人が結婚するのかな、なんて思ってしまう。

だって、ルナはあんなにテキパキしているし、アルテミスはノンビリ屋さんだし。こういっちゃ、アルテミスには悪いけど、あまりバランスがとれたカップルとは思えない。

テレビの「セーラームーンR」の最初の話(四十六話)で、アルテミスがルナにアプローチして、フラレちゃうシーンがあった。だから、アルテミスがルナに好意をもっていたのはたぶん、まちがいない。だけど、その後、そんな態度はみせてない。ルナのことをあきらめちゃったのかな? ルナのアルテミスに対する気持ちは、もっとわからない。

ルナとアルテミスの気持ちについていちばんよくわかっているのは、その役をやっている声優さんかもしれない。だって、声優さんは、自分の役になりきって、声を演じているんだもの。きっと、二人の恋についてもいろいろ考えているにちがいないぞ。ルナ役の潘恵子さんと、アルテミス役の高戸靖広さんに、今回の映画の感想と、二人の恋について、きいてみよう。

潘恵子(声優・ルナ役)インタビュー

ルナは、恋をガマンしてきたキャリアウーマンなのかも?

── 今回の映画版は、ルナが人間に恋する話ですね。

潘 今回の内容について、最初に教えてくれたのは、うさぎ役の三石琴乃ちゃんなんです。チラシか何か見たのかしら。「潘さん、今度の映画では、ルナが女の子になるんです。うさぎよりかわいいんですよ」って(笑)。それからしばらくして、マネージャーが「絶対いいですよ」っていうので、「それじゃ、シナリオができたら早くちょうだい」ってお願いして、ふだんより早めにシナリオを頂いたんです。

── シナリオを読んでみて、いかがでしたか?

潘 人間になれたのは、自分の力ではなくて、うさぎちゃんが力を振り絞ってくれたからでしょ。これからは、うさぎちゃんには、頭が上がらないなアって感じです(笑)。

でもね。わたし、ずっと、ルナの本当の姿は人間で、使命を受けてネコになっているんだ、と思っていたんですよ。

── あっ、そうなんですか。それは、テレビシリーズが始まったころってことですか。

潘 ええ。シリーズが始まったころに、だれかスタッフに、そういわれたような気がします。でも、今回の映画を見ていると「一度だけでも人間にさせて」っていってますね。ということは、月の王国にいたころから、ルナとアルテミスはネコで、ネコとして働いていたのかしら。わたしは、

潘　恵子

4月5日、東京都生まれ。青二プロダクション所属。占星術師としても活躍。「機動戦士ガンダム」ララア・スン役、「ヤマトよ永遠に」のサーシャ役、「愛の若草物語」メグ役など数多くのアニメ作品にヒロイン役で参加。「美少女戦士セーラームーン」ではルナだけでなく、ダーク・キングダムのボス、クイン・ベリルも演じている。

ずっと、ネコの姿をした人間のつもりで、ルナを演じていたので驚いちゃいました（笑）。

――潘さんが「ルナは、いつ人間の女のコになるの？」と、武内直子先生にうかがったのが、今回のお話がかかれるきっかけのひとつになっているようですね。ルナは、もちろん人間になりたかったわけですね。潘さんも、ルナに人間になってほしかったんですね。

潘　ええ、わたしも念願がかなってうれしい（笑）。武内先生はお優しいのね。最後のお願いで人間にしてくれるなんて、あんな話を作ってくださるんだから。

――人間になったルナは、いかがでしたか？

潘　想像以上にかわいい子になりましたね。あんなに、かわいいとは思わなかった。

――今回の話では、ルナを演じるにあたって、いつもと気持ちを切りかえる必要があったのではないかと思うんですが？

潘　そうですね。風邪をひいてるってことでも、恋をするということでも、ふだんとはちがいますよね。最初は恋をしているルナをもうちょっとソフトに演じようかなとも思いました。

　でも、そう思っていたんですけれど、スタジオで画面を見たら、そんなにボーっとした感じでもなかったんです。それから、ルナってお顔がはっきりしてるでしょ。パキッとしたお目々で相手を見つめちゃったりするとね、やっぱりルナは、きりっとしたタイプの女の子かな、と思って、そう思ったら、そういう演技になるんですよ。あまりソフトにしても違和感があるように思えて、あんな感じのルナにしたんです。

――ルナって、意外と純情だったんですね。

潘　あの翔さんって、ステキだったじゃないですか。あんな人と出会ったら、誰でもあんなふうに恋しちゃうんじゃないかしら。

――人間にすると、何歳くらいだと思って演じていらしたんですか？

潘　わたしのイメージでは、独身のキャリアウーマンです。ふだん、うさぎちゃんたちが恋しているのを、見てもいるんだけど、「そんなことよりも、任務が大切でしょ」って言って生きてきた。それがあるとき、目の前に素敵な人が現れたんですよ。

――それが翔ですね。

潘　ええ。やはり病気のときなんか、介護してくれる人がいたら、優しい人だなあと思いますよね。そういう状況で、ルナはパッと恋におちてしまった、と解釈しているんです。

――ということは、潘さん、ルナは二十代ですか？

潘　そう。いつもうさぎちゃんたちのことを子どもみたいに扱っているところがあったから、お姉さんくらいにとらえていましたね。恋の相手の翔が二十代くらいだと思ったので、ルナも同じ二十代のつもりで演じました。

――潘さんの考えでは、ルナの恋心は、同年代の相手に対する恋なんですね。

潘　好きになっちゃった相手に「こうしなさい」っていえるのは同年代だという気がするんですよね。年上の人を好きになると、相手に甘えると思うんですよ。ルナと翔は対等になっている、と演じてみて感じましたね。

――テレビシリーズでも、二十代のイメージで演じているんですね？

潘　やはりね、うさぎちゃんと同年代では、何かあったときに、「こうでしょ」っていえない。バリバリのキャリアウーマンですよ。

――アルテミスはちょっと年下みたいですね。その年下のアルテミスは、ルナが好きみたいですが。

潘　そうですよね。テレビシリーズで一度ありましたね（「セーラームーンR」四十六話）。「ぼくたちもそろそろ……」「何いってんのよ」って（笑）。ルナはアルテミスの心を知ってるんです。知ってるけど、さけてる。そうなってはいけない、自分には使命がある、そんな感じなんですよね。

――映画の最後のほうの二人は、なんかいい感じですね。

潘　監督さんに「最後の、アルテミスが待っているところにルナがかけ寄って行くところは、その先を予言するかのように」といわれました。でも、今回の話のアルテミス、かわいそうですよね。キープちゃんだったのかって（笑）。

　アルテミスは、ずいぶん昔のことを知ってますね。知識の量は、アルテミスのほうが、ルナよりも多いかもしれない。ほかにも、疑問はいっぱいあります。

――というと？

潘　額の月のマークはなんだろうとかね。テレビシリーズの最初のころ、ルナが出していたアイテムは、どこから出したのかしら。いっぱい疑問はありますけど、きっといつか解けるのでしょうね。

――最後に、映画全体の印象をお願いします。

潘　今まで、ルナは恋もへチャもないキャリアウーマンだったわけですが、今回の映画版をへたことによって、ルナ自身に少しうるおいがでてきたと思います。わたし自身の演技も変わったと思います。

　これから、テレビシリーズ、映画と、ずっと見てきてくださったみなさんが、今までとはちがうルナを感じていただけたらうれしいです。

▲恋する話だが、あまりソフトな演技にはしなかったと、潘さん

高戸靖広（声優・アルテミス役）インタビュー

オクテのアルテミスは 今回初めて自分の恋する気持ちに気づいたんだ

高戸靖広

アルテミス役。1月23日生まれ。岡山県出身。代表作は「ビックリマン」のヘッドロココ。アルテミスと同じく、気さくで優しくて、ちょっとヒョーキンなお兄さんだ。

―まず、今回の映画「S」の全体の感想をお願いします。

高戸 最初に台本を黙読したとき、アルテミスがあまりに切なくて、泣いてしまいました。演技に関してはですね、ひとつのシーンごとの出番は短いんですが、その中でアルテミスの思いを表現しなくてはいけない。それで、ものすごいプレッシャーを感じました。ホントに、胃が痛くなりましたよ（笑）。

―高戸さんは、アルテミスがルナを好きだと、思っていましたか？

高戸 あいつは、今まで「ルナが好きだ」という感情を、はっきりと持ったことは、なかったんじゃないのかな。ずっと“良きパートナー”と思って、今回の事件で初めて自分の気持ちに、疑問をもったんでしょうね。ルナがいなくなって、だんだんイライラしてきて、ようやく自分の「好きだ」という気持ちがわかったんだと思います

―なるほど。アルテミスらしいですね。テレビシリーズに登場したころは、彼はルナに対して兄のように接してましたよね。

▲インタビューのなかで、話題になっている「R」の最初の話で、アルテミスがルナにアプローチした問題の場面。

高戸 ぼくも、最初はそのつもりだったんですが、テレビの「セーラームーンR」の最初の話でルナに迫ってから立場が逆になってしまったんです。ああいう迫りかたをしたら、そりゃフラレますよ。でも、それがアルテミスの恋愛下手なところで、そういうところが、かわいいと思います。あの後、二人は、どんどん漫才コンビになってますね、今では、老夫婦の漫才みたいですよ（笑）。

―今回のアルテミスは、ずいぶんと初々しい感じでしたね。

高戸 初めて恋を体験した、純情な中学生みたいですよね（笑）。「好き」っていう一言がいえなくて、誰にも相談できずに煮詰まってる子どもと同じですよね。

―じゃあ、ラストのセリフは、アルテミスにとって、精一杯のものって感じなんでしょうね。

高戸 そう。アルテミスはすごい照れ屋ですからね。待ち続けた人がやっと帰ってくるのに、ああいう表現しかできない。

―アルテミスは、人間にたとえたら、何歳くらいだと思いますか？

高戸 アルテミスもルナも、けっこう悟っているところがありますから、セーラー戦士よりは年上でしょうね。ルナが二十五歳くらいで、アルテミスは、ルナよりも、ひとつかふたつ年上なんじゃないでしょうか。よくあるじゃないですか、年下女房の尻に敷かれるって（笑）。尻に敷かれながらも、ノホホンと過ごしているんですよ。

―ところで、潘さんは「ルナは、本当は人間なんだ」と信じていたそうですが、高戸さんは？

高戸 以前、潘さんと、そういう話をした覚えがあります。ぼくは、最初に原作と台本を読んだときに、コイツをネコとしてではなく、人間のつもりで演じようと決めてました。そのほうが絶対いいヤツになる、と思ったんです。そういうところで、ぼくと潘さんのとらえ方が重なったんじゃないでしょうか。

―それでは、アルテミスが人間に変身したらどうなると思います？

高戸 ルナは美人だけど、アルテミスはちがうでしょう。でも、いい男だったらいいなァ。まっ、どちらにしろアルテミスはアルテミスですから、愛せます！

―ルナが人間の姿のままで、ネコに戻らなかったら、どうですか？

高戸 今よりツッコミが激しくなるかもしれない。そう考えると、恐ろしいですね（笑）。ネコに戻ってくれてよかったです。

まとめ

なるほど、なるほどね。つまり、こういうわけだ。

アルテミスは、以前からルナのことがすきだった。でも、その気持ちを自分ではっきりと意識してはいなかったんだ。彼はオクテだからね。きっと「R」の最初の話のときも、ほんの軽い気持ちで、ルナにアプローチしたんだろう。

ルナは、アルテミスが自分のことをすきなのを、知っていた。だけど、自分には使命がある。だから、気がつかないふりをしていた。使命を大事にするあまり、恋をしないで生きてきたルナだけど、翔という素敵な人に恋をしてしまった。うさぎちゃんたちが戦士として一人前になってきたから、自分の気持ちを大事にするゆとりもできたんだろう。

そして、ルナが他の男性に恋したのを知ったことで、アルテミスも初めて自分の気持ちに気がついたというわけだ。アルテミスの心の温かさにふれて、ルナもアルテミスのことを少しすきになったみたいだ。

だけど、これで安心してはいけない！ 二人が愛を育てるのは、これからだ。武内先生も「セーラームーン」の世界では、未来は変わるかもしれないと話している。いくら、未来にダイアナという子どもがいるとしても、ルナとアルテミスが絶対に結婚するとはかぎらない。アルテミスが、ルナのハートを本当につかむには、時間と努力が必要なんだ。

キャラクターから美術設定まで，新作の設定資料を，ほとんどゼンブ掲載！

キャラクター&美術 設定資料集

今回の映画では，主役ということもあり，ルナの設定には力が入れられている。ネコの姿でも表情やポーズなどに関して，テレビ版のものに追加するかたちで，新たに設定が作られた。他の見どころは，やっぱり，うさぎたちのファッショナブルな私服の数々だろう。数もかなり多く，また，テレビでは見られなかった凝ったデザインの服も登場している。キャラクターの設定は，作画監督の香川久さんによって，美術の設定は，窪田忠雄さんによってデザインされたもの。

ルナ

▲首のリボンは，翔が巻いてくれたプレゼント。

▲可憐な少女の姿に変身したルナ。

ルナの人間姿は，翔や姫子と同様に，武内先生のキャラクター原案をもとにデザインされている。顔つきは幼いが背の高さは，うさぎと同じくらいに設定されている。

▲新作されたルナのポーズ集。カゼの熱で，もうフラフラ。

▲新作の表情集。恋に頬を赤らめ，ネコであることに苦しむ……。

うさぎたちの私服
●1日目●

★今回の映画では，ドラマの中で日がかわると，うさぎたちの服も，ちゃんと別のものになっている。1日目は，みんなが街へ，ショッピングに行った日。もちろん，服はお出かけ用だ。

◀この日のうさぎは、黒いストラップシューズに、ニーソックスでフレンチカジュアル。

▶フリルがいっぱいついたオーバーブラウス風のジャケットが，とってもロマンチック。

▼美奈子はシャープな感じのマオカラージャケットにロングスカートで，かわいらしく。

◀白いカルソンにブーツ。流行のアイテムをとりいれながら，彼女らしく。

▼明るい色のニットにグレーのプリーツスカートで，スクールガール風。

▶亜美は、暖かそうなニットカーディガンにミニスカート、靴とカバンが服と色合わせ。

▲流行のロングブーツには足見せがお約束。明るい色のリュックサックとマフラーで，ポイント作りも忘れない。

★二日目は、街へお出かけした日の翌日。行方不明になったルナを、みんなでさがしているところで、スノーダンサーたちと戦うことになった日だ。冬らしく暖かそうな服が多いみたい。

◀ちびうさはよ～く見ると，うさぎとペアルック。まったく同じじゃないのがオシャレ。

▶ジャケットと帽子を赤で合わせて，ニットワンピースに巻いた黒いベルトがきいてます。

◀翔の表情集。大人になっても幼い日の夢を追い求める、ピュアな心の青年だ。

宇宙　翔

宇宙開拓事業団の天文台で、天体観測官をしている青年。物理、生物、航空宇宙工学など、数々の博士号を取った秀才であり、宇宙飛行士になり、星の世界へとはばたくことを夢見ていたが、残念ながら、病弱な体のため（原作版では、心臓の障害のため）パイロットになることはできなかった。かぐや姫に会うという夢を、小さいころからいだき続けているロマンチスト。事業団の同僚たちからは少々、変人あつかいされている。

◀翔は、衣装の設定がたくさん作られた。病気のルナを看病したときの姿。

▶天文台での勤務中は、私服の上に白衣という姿。

▼寝るときも、普段着も……。黒の縦縞が翔のお気に入り？

▶冬の街で、ルナをたすけたときの姿。寒さをしのぐためジャンパーを羽織っている。

衛たちの私服

▼みちるの私服。ボレロだけのジャケットにジャンパースカートでエレガントに。

◀はるかの私服。セーターにダンガリーシャツをはおったシンプルコーディネート。

▲せつなの私服。ショートトレンチにミニのタイトスカート。ブーツでアダルト。

▶衛の私服。ロールネックのセーターにベスト。すっきりしたカジュアルルック。

▶姫子の表情集。武内先生のキャラクター原案に近く、大人びた顔つきになっている。

名夜竹姫子

▶映画前半で着ていた私服。アダルトかつ清潔感も強調。

◀航空宇宙局でシャトルの調整をしていたときの作業服。

◀後半で着ていた私服。アメリカに帰るときもこの服を着ていた。

月の調査を目的とした，アメリカの航空宇宙局のルナ・フロンティア計画のパイロットに抜擢された女性。出発前の特別休暇を利用して，1年ぶりに翔に会うために日本へ帰国した。

開拓事業団の同僚で，おさななじみの宇宙翔に思いをよせており，ルナ・フロンティア計画が終わったら彼の側にずっとついていたいと思っていたが……。夢見がちな翔にくらべると，はるかに現実的にものを考える女性。

翔の観測所

▲天文観測所は海の近くにたてられている。

▲宇宙開拓事業団の天文観測所。どうやら，常駐している所員は，翔だけのようだ。

▼この天体望遠鏡で月をながめることが，翔は大好きだ。

▲宇宙へ旅立つ姫子が，所員たちに挨拶するために立ちよった，宇宙開拓事業団の本部。

▲観測所内に用意されている，翔の私室。

プリンセス・スノー・カグヤ

◀表情集。セーラームーンをしのぐ破壊の力を秘めていた。

はるかな昔に、地球を支配しようとした、伝説の魔女。不思議な光の力で、銀河のかなたへ追放されていたが、放浪の旅をへて再び太陽系へ——。地球を氷で包み、自分のコレクションにしようとたくらんだ！

▲冷気で、地球を滅亡にみちびく氷の結晶。

▲スノー・カグヤが、地球の海に築いた氷の塔。

カグヤの彗星

▶宇宙を飛ぶ、邪悪な彗星。それはスノー・カグヤの分身だった。

▼彗星の地表は、すべて雪と氷に覆われていた。そう、まさに死の星だ。

翔の部屋は若者風にオシャレに

窪田忠雄（美術監督）

橋本和幸（美術監督）

今回の映画では、ムクオスタジオの窪田忠雄さんと橋本和幸さんが、二人で、美術監督を担当した。窪田さんが美術設定や美術ボードを描き、橋本さんは、天文台の翔の部屋や、ルナと翔が宇宙を飛ぶシーンなど、重要なシーンの背景を描いている。

「前の劇場版には、あまり参加できなかったぶん、今回多くの面で努力できればと思いました。ただ、背景で参加したスタッフは『セーラームーン』を経験している人ばかりですから、安心してやることができましたね。この作品にかぎったことではないですが、スタッフ全員でイメージ作りをした印象が強いです」

と、窪田さん。具体的なデザインの作業としては、監督が絵コンテをかきあげる前に、シナリオを読んで個々の場面のイメージを膨らませて、美術設定を描いたのだそうだ。

▶言葉を話さず、よほどのことがないかぎり、感情もみせない。

スノーダンサー

スノー・カグヤの凍気から生まれた、しもべたち。空を自在に舞い、全身からはなつ魔吹雪で、人々や街を、氷でおおいつくそうとした。手や顔が吹き飛んでも、まだ動きつづけることができる、不気味なやつらだ。

▲魔吹雪のアクション・パターンの設定。

▶カグヤとセーラー戦士が戦うバルコニー。実際に映画では使われなかった。

◀塔の周囲は、彗星の地表と同じようになってしまう。

▲氷に包まれた、東京タワーの美術設定。映画制作開始時に、イメージ固めのために描かれたもの。

氷の塔

「とくにスノー・カグヤの氷の塔は、後半の主な舞台になるということもあり、いろいろと考えてみました。テレビシリーズの『セーラームーンR』に登場したクリスタルパレスが、ガラスのイメージの建物だったんですよ。ふつうに氷の塔をデザインすると似てしまいますので、最終的に氷が花のようになるかたちにしました。翔の部屋に関しては、天文台の中にあり、一人暮らしで研究に熱中している人だから、もっと散らかっているのではないかとも思ったんですが(笑)、恋愛が中心になる話ですから、あまり汚くはできませんね。若者らしく、シャレた感じの部屋にしました」

氷の塔に関しては、実際の作品では使われなかったが、塔の中でセーラー戦士とスノー・カグヤが戦うイメージでの、美術設定も描いたという。背景の見どころのひとつだった、冒頭の宇宙シーンに関しては、かなりリアルに、重々しく描き、後のシーンとのギャップをだすようにした」のだそうだ。

橋本さんは、今回の映画版の感想を次のように話してくれた。

「今回、スケジュールの余裕はあまりなかったんですが、映画版ということでかなり集中して作業をしました。ふつうの世界と氷の世界のちがいを意識しました。氷の世界は、スノー・カグヤが美しいと思う世界ですから、それをうまく表現できればと思って描きこみました。それから今回は、翔を中心に、トレンディドラマみたいなところがありましたね。美術の面でもオトナっぽい画面づくりなどで『セーラームーン』の新しい面がだせたんじゃないかな？と、思います」

最後の、ルナと翔が飛ぶシーンの宇宙は、夢のシーンとしてとらえ、意図してイメージ的に描いたのだそうだ。

映画 美少女戦士セーラームーンS なるほど百科

「ああ、なるほど！」と思うようなヒミツの話やマニアックな情報を紹介しちゃうのが、このコーナー。キミも「セーラームーン」博士になっちゃおう！

うさぎの部屋にあった本

ルナがポプリの小瓶をとろうとしたシーンに注目しよう。よく見ると、小瓶の左側に、「手づくりケーキのお店」「世界のお菓子」「自分で作れるクッキー」と、お菓子にかんする本がならんでいるんだ。ここは、うさぎとちびうさの部屋だけど、ちびうさが読むにはちょっと難しそうだ。これはお菓子か大好きな、うさぎの本にちがいない。「自分で作れる～」なんて本を読んでいるということは、お菓子作りに挑戦しているのかな。

宇宙観測所はどこにある？

翔の家であり、職場でもある、宇宙開拓事業団の宇宙観測所は、いったいどこにあるのだろう。

そこで左に掲載した美術設定をみてもらいたい。宇宙観測所は、海沿いの街の近くの岬に建っているんだ。手前にはビルなどが建っているし、近くを高速道路も通っている。意外と、にぎやかな場所にあるんだ。

これには、ちょっとした裏話がある。つまり、翔が結晶のかけらを浜辺でひろうためには、観測所は海の近くに建っていなくてはならない。さらに、ルナが何度もいくことができるのだから、東京の麻布十番から遠い場所ではまずい。そのふたつの条件を満たすために、東京近くの海沿いの街に建っているという設定が考えられたのだ。だけど、いくら東京に近いとはいっても、ネコのルナがここまで通うのは、たいへんだったろうな。

翔はアウトドア派

映画の冒頭で、翔が結晶をひろうシーンで彼は自動車に乗っている。彼が乗っていたのは、いかにもアウトドア派好みの、ゆったりとした、4WDだった。彼が、部屋のなかで研究ばかりしていそうなタイプだと考えると、これはちょっと意外だ。ちなみに、この自動車のモデルになったのは、いすゞのBIGHORNイルムシャーという車なんだ。

▶香川さんによって描かれた4WDの設定。なぜか、[illegible]楽しそうである。

少し映画とちがうこの写真はナニ？

右に掲載した二枚の写真、雑誌や映画の宣伝で目にした人も多いだろう。でも、この写真とまったく同じ場面は、映画のなかにはなかったよねえ。

これは、この映画の制作中に宣伝のために描かれたスチール写真なんだ。映画のストーリーから、イメージをふくらませて作画監督の香川久さんが描いたもので、この三枚と、十九ページに掲載した翔とルナのバージョンをあわせた、全四枚が描かれている。ちなみに、前作の映画「セーラームーンR」では、特に描きおろしのスチールは作られていない。

▲[illegible]

セーラーチームがスノーダンサーと戦った場所はどこ

映画の前半で、セーラームーンとちびムーン、ウラヌスたち外部太陽系三戦士、残りの四人のセーラー戦士は、それぞれ別にスノーダンサーと戦った。

じつは、その戦った場所は美術スタッフによって設定されていた。セーラームーンたちが戦ったのは銀座、外部太陽系三戦士は青山、四人のセーラー戦士は渋谷なんだ。どれも、東京にあるオシャレな街だ。背景もそれらしく描かれているから、ちょっと気をつけてみてみよう。

▼▶セーラー戦士たちが戦った場所は、[illegible]

使用音楽総リスト!

	BGMタイトル	秒数	備考	CDでの収録ブロック
M-1	宇宙〜<スノー・カグヤのテーマ>	45秒半	新曲	1−1
M-2	胸騒ぎ	49秒	新曲	5−1
M-3	主題歌「ムーンライト伝説」	1分21秒	テレビ版からの流用	未収録
M-4	のん気なうさぎ	40秒	新曲	4−1
M-5	不安	45秒	新曲	5−4
M-6	翔の優しさ<翔のテーマ>	49秒半	新曲	3−1
M-7	悪友<楽しく弾むように>	29秒半	新曲	4−2
M-8	胸騒ぎ〜めまい	1分8秒	新曲	5−8
M-9	翔の夢優しく<翔のテーマ>	42秒	新曲	3−2
M-10	恋の目覚め<ルナのテーマ>	25秒半	新曲	2−1
M-11	侵略作戦開始<スノー・カグヤのテーマ>	50秒半	新曲	6−1
M-12	スノーダンサー襲来	34秒半	新曲	6−1
M-13	全員変身	1分25秒	新曲	7−1
M-14	喫茶店内曲	8秒半	クラッシック曲流用	未収録
M-15	ウラヌス、ネプチューン、プルートのテーマ	1分31秒	テレビ版からの流用	未収録
M-16A	苦戦	18秒半	新曲	6−4
M-16B	苦戦	28秒半	新曲	6−4
M-17	逃げろや逃げろ!	18秒半	新曲	4−3
M-18	セーラーちびムーンの変身	18秒半	新曲	7−2
M-19	セーラームーン変身	30秒	テレビ版からの流用	未収録
M-20	セーラームーン登場	25秒	テレビ版からの流用	未収録
M-21	幻惑	27秒半	新曲	6−2
M-22	大ピーンチ!!	16秒	新曲	6−4
M-23	タキシード仮面のテーマ	3秒	テレビ版からの流用	未収録
M-24	ジングルベル	16秒	新曲	未収録
M-25	タキシード仮面のテーマ	13秒半	テレビ版からの流用	未収録
M-26	ムーンスパイラルハートアタック	30秒半	テレビ版からの流用	未収録
M-27	野望<スノー・カグヤのテーマ>	1分4秒	新曲	6−3
M-28	ブリッジ(寂しい)	5秒半	新曲	2−6
M-29	ルナ　ラブシーンにぽぉっとなる	25秒半	新曲	2−2
M-30	ドキドキドキ(可愛く)	28秒半	新曲	2−7
M-31	翔の思い<翔のテーマ>	39秒半	新曲	3−3
M-32	ブリッジ　心がときめいて…	15秒	新曲	2−3
M-33	恋しくて…	42秒	新曲	5−3
M-34	辛い別れ<翔のテーマ>	1分8秒	新曲	3−4
M-35	ルナの哀しみ<ルナのテーマ>	52秒半	新曲	2−4
M-36	スノー・カグヤ出現<スノ・ーカグヤのテーマ>	50秒半	新曲	6−5
M-37	邪悪なエネルギー	1分17秒半	新曲	1−2
M-38	切ない愛<ルナのテーマ>	38秒	新曲	2−5
M-39	巨大な氷の塔がそびえたつ	40秒	新曲	6−6
M-40	ウラヌス、ネプチューン、プルート登場	22秒	テレビ版からの流用	未収録
M-41	戦闘開始(勇ましく)	1分4秒	新曲	8−3
M-42	激戦	46秒	新曲	8−1
M-43	セーラー戦士達の危機	35秒半	新曲	8−2
M-44	恋する心(切なく)	1分4秒	新曲	4−4
M-45	スノー・カグヤ　凄まじいパワー	40秒	新曲	8−4
M-46	愛と友情の力	2分40秒半	新曲	9−1
M-47	愛の奇跡<ルナのテーマ>	2分27秒	新曲	10−1
M-48	愛のメッセージ<ルナのテーマ>	54秒	新曲	10−2
M-50	主題歌「Moonlight Destiny」	2分3秒半	新曲	11

M−1、M−2、M−3という数字は、音楽の整理上の番号 [illegible] された順に番号がつけられている。BGMタイトルとは、[illegible] するうえでつけたタイトルのこと。長いタイトルは省略 [illegible] ロックとは、CD「映画セーラームーンS音楽集」[illegible] 収録されて [illegible] ば「7−1」なら、チャプター7の1の、いちばん最初に収録されて [illegible] 映画のために作られた曲のほとんどが、そのCDに収録されているが [illegible] 理由で収録されなかった。サンタクロースが登場したシーンでかか [illegible]

ちびうさ初の本格的変身

この映画では、ちびうさから、ちびムーンへの変身シーンをたっぷり見ることができた。テレビの「S」でも、ちびムーンの変身はあったが、それは短いパターンのみ。たっぷり時間を使った変身はこれがはじめてだった。

使われた曲は全部で50曲だった

さて、この映画で使われた音楽について、マニアックにチェックしてみよう。

今回の映画で使われた曲は、BGM、主題歌とエンディングのテーマ曲あわせて、五十曲だ。

BGMの特色は、監督の芝田さんのインタビューにもあるとおり、〝ルナのテーマ〟〝翔のテーマ〟〝スノー・カグヤのテーマ〟と、三種類のテーマを作り、それぞれのバージョンちがいの曲を、映画のなかで、くりかえし使っているということだ。

使われたBGMのほとんどが、この映画のために作られた新曲だが、セーラー戦士の変身、登場、タキシード仮面登場など、テレビでおなじみの曲は同じものを使っている。これは、今回の内容ならば、あらたに新しい曲を使うよりも、耳になじんだ曲を使ったほうがよいだろうと判断されたためだ。ただし、マーズ、マーキュリー、ヴィーナス、ジュピターの変身の曲(M−13)は、あらたに録音されたものを使っている。映画版「S」の変身シーンで使われた曲に似ているので、同じ曲を使ったと思ったノァンも多かったことだろう。

かわったところでは、はるか、みちる、せつなが喫茶店にいるシーンで流れているクラッシック風の曲(M−14)だ。これのみ、すでにある曲を流用したもので「セーラームーン」のために作られた曲ではないのだ。

▲今回のBGMを収録した、CD「映画セーラームーンS音楽集」はフォルテ [illegible] ンタテインメントから発売中。

はるか昔に、スノー・カグヤを襲った光とは?

はるかな昔に、スノー・カグヤが地球に迫ったときに、彼女をふきとばした光とはいったい何なのだろうか?

五十七ページのインタビューでも、原作者の武内直子先生は「きっと、クイーンセレニティの御先祖さまなのでしょう」といっている。おそらく、クイーンセレニティの先祖が、シルバー・クリスタルパワーを使って、スノー・カグヤを追い散らしたのだろう。そこで、あらためて映画の画面をよ〜くみてみよう。回想シーンでスノー・カグヤに放たれた光は……地球と月のあいだから放たれているっ! つまり、地球から放たれたようにも見えるし、月から放たれたようにも見える、というわけだ。

クイーンセレニティの先祖なら、地球ではなく月に住んでいたはず。ならばその光は月から放たれたと考えるほうが、筋は通る。そして、カグヤもその光は、月から放たれたものとは、思っていなかったのだろう。それにしても、クィーンセレニティの一族は、ものすごい昔から、地球を守っていたんだなァ。

▲地球と月のあいだから、放たれたシルバー・クリスタルパワーの光。演出意図としては、地球と月のどちらから放たれたものか、謎を残すためにこういったかたちにしたのだ。

ひみつの小箱プレゼント

前年の映画版「R」にひきつづき、劇場で入場者にプレゼントがくばられた。今回のプレゼントは〝ひみつの小箱〟だ。プラスチック製の小物入れで、てのひらにのるくらいの小さいサイズだけれど、ちゃんとカギをかけることができる。

▲色はピンク。ポケット[illegible]

姫子が見た夢、光は何だったんだろ？

宇宙空間で、姫子はとんでいく人影のような光をみて、驚く。そして、女神、月の女神……翔、あなたのいっていたことは……とつぶやく。さて、彼女が見たものは何なんだろうか？

光が姫子の前を飛びさっていくときに、宇宙服のヘルメットのバイザーに、その光チフリとうつる。この映画をビデオで見る機会があったら、コマ送りにしてみてみよう。じつは、それは、人間の姿になったルナに見えるのだ。

しかし、人間の姿になったルナは、翔といっしょに宇宙へいったはず。しかし、バイザーにうつったのは、ルナだけで翔はうつっていない。はて？

じつはこれが、この映画のいちばん深いところなんだ。つまり、翔とルナが本当に宇宙に行ったのか、それともあれはルナと翔が見た夢だったのか、それは映画を見た人が想像すればいいということ。だから、このシーンについては、想像する余地があるように、あいまいに描かれている。

姫子がみた光についてもそうだ。それは宇宙をとぶ翔とルナだったのかもしれないし、あるいは幻かもしれない。ひょっとしたら、本当に月の女神を見たのかもしれない。いったいなんだったんだろうって、想像できるほうがロマンチックだもの。

ポスターは全部で8バージョン

映画版「美少女戦士セーラームーンS」に関しては、計八種類のポスターがつくられた。絵柄は二種類で、それぞれの絵柄でサイズがちがったポスターがあったり、同時上映作品も掲載されているバージョンがあったりで、計八種類というわけ。絵柄は九人のセーラー戦士が飛んでいる

ものと、翔や人間の姿のルナなど映画版の登場人物をまじえたオールキャラのもの。後者は武内直子先生の描いた原作単行本の表紙を、セル画で描き直したもの。原画を描いたのは、どちらも作画監督の香川久さんだ（前者はこの本の九ページに、後者はこの本の表紙に同じ絵を掲載）。

本当に翔は宇宙にいったのかな

▲宇宙を[illegible]その宇宙は、明るく[illegible]

これは、前の前の項目で話したことと、関連してくる。翔とルナが本当に宇宙に行ったのかどうかに関しては、見た人が想像すればいい。それについては、映画のなかであいまいに描かれている。

それがよくわかるのが、翔とルナが宇宙を飛んでいるシーンでの、宇宙空間の描かれ方だ。姫子がスペースシャトルでいった宇宙は漆黒の空間に、地球や月がポッカリと浮かんだリアルタッチのもの。それに対して翔とルナが飛んだ宇宙は、明るい色で光り輝くファンタジックなものだ。ふたつの宇宙は意図的にちがった映像として描かれているわけだ。翔とルナは本当は宇宙に行ったのではなく、一夜だけの素晴らしい夢を見た、ということなのかもしれない。

本屋さんでみんなが読んでいた本は？

オープニングの本屋のシーンで、亜美以外の五人は雑誌の立ち読みをしていた。うさぎが読んでいるのは、みんなもよく知っている「なかよし」。レイが読んでいたのは少女雑誌で「EIGHTEEN」。まことが読んでいるのは料理の本で「冬のおかず」。ちびうさが読んでいるのは、ナゾナゾの本みたいだ。美奈子が読んでいたのは、なんと「セーラーV」。つまり、彼女の活躍が描かれたマンガだ。大きな口をあけて笑っていたけれど、なにかそんなにおかしかったんだろう？

幻の亜美ちゃんパンチ

これはアニメ制作上の裏話。オープニングのゲームセンターのシーンで、亜美だけ

がパンチングボールを叩いていないところが、絵コンテの段階では、パンチングボールを叩かないのは美奈子で、亜美が叩いて65点の点数がでるはずだったのだ。

アニメを制作していく過程で、やはり一人だけ叩かないなら、美奈子よりも、おしとやかな亜美のほうが向いているのでは？ ということになり、変更されたというわけだ。でも、亜美のパンチを見てみたかったファンもいるのでは？ ちなみに、美奈子が次々と服を試着するシーンも絵コンテでは左上のようなかたちになっていたのだ。

「Moonlight Destiny」を歌った朝川ひろこ

物語がラブストーリーだったということもあり、今回のエンディングには、純愛をしっとりと歌いあげるものを使いたいというコンセプトが、監督の芝田浩樹さんからだされた。それで作られたのが「Moonlight Destiny」なんだ。

これをうたったのは、新沼謙治さんとのデュエットソングなども発表している、歌手の朝川ひろこさん。「セーラームーン」のファンには、新シリーズのアニメ「魔法使いサリー」や、ドラマ「魔法少女ちゅうかなぱいぱい」の主題歌をうたったことなどが記憶にあるかもしれない。朝川さんは自分で作詞作曲した歌をつけた、CDつきの絵本を発表したりもしている、多才なかただ。

▲…さんは6月10日生まれ。…今回の映画に関連し…にも、何度か出演して…

メリークリスマス・アンド・ハッピーニューイヤー!

サンタクロースのコスチュームを着て現れたタキシード仮面は、ふだんの姿に戻った後、コマを投げる。なぜ、サンタのあとにコマなのか？ この映画の劇場公開が十二月だったので、サンタの服で登場させることになったわけだが、映画は年を越しても公開を続けている。だから、プロデューサーの配慮で、一月に見る人のためにコマを投げさせることにしたのだ。登場のセリフも「メリークリスマス・アンド・ハッピーニューイヤー」というわけ。

四日目の衣装の謎

設定資料のページでも少し説明したけれど、今回の映画版では、ドラマの中で日が変わると、うさぎたちの私服もちゃんと変わるようになっていた。劇中で私服が登場したのは四種類。だけど、作られた設定は全部で三種類で、一日目から三日目までの分しか作られていない。四日目というのは、スノー・カグヤとの戦いがおきる日のことなんだけれど、四日目の私服のデザインはどうなっているんだろう。

じつは、二日目と四日目の設定は、同じデザインなんだ。まこととレイの四日目の服は、二日目の衣装から上着をとった姿。うさぎ、亜美、美奈子は同じ服の色ちがいを着ているんだ。ちなみに、別のシーンで登場した、うさぎが着たパジャマは、テレビシリーズで着たものの色ちがいだ。

苦労したスノー・カグヤの色

辻田邦夫（色指定）

前の映画版の『R』では、場面によって画面のトーンや、キャラクターの色をバンバン変えていったんです。

ですが、今回の映画版は、話を丹念に追いかけて、キャラクターの心理描写を中心にすすんでいく、正攻法の作りの映画でしたから、ルナの物語をじっくり見てもらうために、全体に、より自然な色づかいをするように心がけて、キャラクターの基本の色からあまり外れない範囲で微妙に変化の色をつけました。結果的には、それでよかったと思います。

新キャラクターの色に関しては、原作者の武内直子さんのキャラクター原案にそって決めました。ただ、スノー・カグヤとスノーダンサーの色は、決めるまで、かなり時間がかかりました。雪と氷のキャラクターというイメージを表現するために、ふつうは黒いキャラクターの輪郭線を、青と白で処理することになりました。輪郭線だけを別のセルにしたり、複雑な処理になりましたが、ベストの選択だったと思います。

印象的だったのは、うさぎたちの私服の色です。キバってやりましたよ（笑）。香川さんの私服のデザインがよかったですからね。あがってきたデザインをみて、やる気がでました。あの私服は評判がよかったのでうれしかったです。

派手さはないけれど凝った撮影を

高橋 基（撮影）

…3月…日生まれ。…映画版『セーラー…』。今…雪の場面…たいへんだったという。

ぼくは前作の映画版に参加した後にも、テレビの『S』のオープニングやスーパーセーラームーンの変身、プルートの変身&必殺技の撮影など、九十四年は「セーラームーン」にかかわることが多かったんです。そんなこともあったので、自分から志願して、撮影チーフとして参加させてもらいました。

前作の映画版と同じレベルのことをやっても進歩がないので、技術的に凝ったものにしようと思いました。

具体的には、ルナが翔の部屋で目をさますシーンや、うさぎのキスシーンなど、画面にボカシがかかる場面が多かったんです。それを色々な自作のフィルターをつかって、ボカシのパターンを全部かえてみました。たとえば、海のなかにカグヤの結晶が落ちていくシーンでは、水が濁った感じの画面をねらっています。とくに派手な描写が多いわけではありませんが、なにげない普通の場面で細かい工夫をしているところは多いんですよ。

完成度をあげるために、OKがでているのを、ぼくのほうでお願いして撮影をやり直しさせてもらったカットもありました。スケジュール的には前の映画版より厳しかったんですけれど、撮影に関しては前作の映画版よりもグレードアップできたんじゃないか、と思います。

香川　久(作画監督)インタビュー

画面からキャラが浮かび上がってくるような絵を

香川　久

昭和40年6月23日、愛媛県生まれ。アニメーター。スタジオコクピット所属。代表作は「魔法使いサリー(新)」など。「セーラームーン」には14話から作画監督として参加。丸みのある、かわいらしい絵柄でファンに支持される。半年ほど「セーラームーン」から遠ざかっていた。この映画版はひさしぶりの「セーラームーンS」への参加だった。

――今回の映画に参加する前後のことからきかせてください。

香川　テレビ版とはちがう、ルナが主役の番外編的なものを作るということだったので、それはおもしろそうだなと思いました。脚本を読ませてもらったら、日常芝居が多かったんです。そういう意味でも、ふだんの「セーラームーン」とちがったものができるんじゃないか。だから、やりがいはあると思いました。

――映画の作業に入ったのは、いつくらいなんですか。

香川　昨年の九月くらいですね。キャラクターデザインと同時進行で、作画打ち合わせしたり、レイアウト(人物の位置と背景を決めるための絵)のチェックをしました。

キャラクターをデザインしているときには、結構、精神的に余裕があったので入れ込んでやれました。ただ、実際に作画してみると考えてたキャラと、少しちがう感じになりましたね。翔はデザインでは、もっとやせていて大人っぽい骨格だったのが、こどもっぽくなっちゃって。

姫子については、デザインの段階で、なかなか性格がつかめなくて苦労しました。最初は、つり目のキツイ感じの女の子だと思っていたんですけれど、武内さんのほうから「眉はキッとしているけれど、目はかわいく」という指示をもらったんです。そういったことを、うまく消化しきれなかったかな、というのはあります。

――敵側のキャラに関しては?

香川　デザインする段階で、いちばん苦労したのが、スノー・カグヤですね。彼女がどういう存在なのか、よくわからなかったんです。アニメのほうでは、カグヤと翔の関係などはなくて、単なる悪役だったでしょう。ドラマ的に何かあれば、表情のつけかたも、ちがったものになったと思いますけど、冷たいだけという感じになってしまいましたね。ただ、一本の映画としては時間に制限があるわけだから、難しいですけれどね。

――デザインで、うまくいったキャラは?

香川　スノーダンサーですね。ふつうのキャラクターは、眉で表情をだすんですが、あれに関しては眉をなくしたのがよかったと思います。あと、単純なかたちで官能的なふんいきを出せたし、雪のかたちがクルクルっと固まってスノーダンサーが生まれるところなど、自分のイメージがうまく出せたと思います。

――ルナは、表情やポーズなどを新たに設定をおこしたんですね。

香川　ルナに関しては、ふだんのテレビよりも、リアルなネコを意識しました。あまりリアルにしすぎると、ルナじゃなくなっちゃうんで、難しいんですけれどね。それから、デザインで苦労したといえば、うさぎたちの私服ですね(笑)。

――はい、きましたね。今回の映画の見どころのひとつでした。

香川　今回は数日分の私服がでてくるので、ちょっと凝ってみました。お出かけの日には、少しハデに。普段着でも、オシャレっぽい感じでいきたいと。最初はファッション雑誌を見てかこうとしたんですけれど、雑誌に載っているのを、そのまま使えなくて、街角で見かけた女の子の服を参考にして、組み合わせたりして作ってみました(服については八十八ページ)。

うさぎとちびうさは、おそろいになるかたちにしました。他の四人に関しては、着るもののイメージができてますよね。ふだんのイメージと違ったものを着せようと考えてみました。

――と、いいますと。

香川　ぼくには、まことって、パンツルックが多いという印象があるんです。それで、ミニスカートをはかせてみたんです。それから、あの子たちは、あまり長いスカートをはかないようなので、なるべく長いのをはかせるようにしました。それから、三日目の亜美ちゃんの服がスタッフのあいだで、評判がいいんですよ。

――ああ、あの黄色いニットのやつですか。

香川　わりとふつうの服なんですけれどね。

――実際の作画監督としての作業としては?

香川　作業期間は短かったんですけ

▶今回の映画版のために、香川さんが新たに描いた、ルナの歩きのパターン。

れど、原画の人たちががんばってくれました。ぼくは、わりとそうするんですけれど、レイアウトチェックの段階で、ずいぶんとラフを入れたんですよ。

―― それぞれのアニメーターが、レイアウトを描いた段階で、香川さんがラフを描いて、キャラクターや構図を直したり、「こんな動きで」って指示したりする、ということですか（左のコラムを参照してね）

香川 そうです。映画の作画全体を自分なりのふんい気でまとめていく作業ですね。だいたい思ったとおりになりました。

原画の修正に関しては、自分の頭のなかに「セーラームーン」というタイトルがついていても、ルナが主役なんだというのがありました。スケジュールがなくなって、後半、原画を直しきれなくなる可能性があったので、ルナを最初にどんどん修正しました。だから、ルナの芝居や表情には、力を入れましたね

―― とくに、力を入れたシーンってありますか？

香川 後半の、天文台でルナが階段を下りてきて、うさぎと会話をするシーンがありますね。あそこのシーンで、見ている人が感情移入してくれれば、それで、この映画はいけるんじゃないかと思いました

それからルナの変身ですね。ふだん、ルナはネコの姿をしていますけれど、いつかは人間の姿になるんじゃないかとは、思っていたんです。ただ、ルナはうさぎたちよりも、ずっと年上という印象があったんです（笑）。でも、変身した姿は幼い感じでしょ。これはもしかしたら、変身したら違和感があるのではないだろうかと思ったんですけれど、完成した映画をみたら、全然そんなことなかったですね。

―― 今回の映画版にかぎらず、香川さんが描く女の子には、独特のまろやかさがありますね。

香川 自分の線ってわりとシャープなほうだと思うんですけれど、セル画になると丸っこいキャラクターになっていると思うんです。腕などを描くときも、なるべく直線は使わないようにしています。線で微妙なふくらみを出したい。画面からキャラクターが浮き上がってくるような絵を描きたいと思っています

―― 浮き上がる絵ですか？

香川 ええ。アニメーションでリアルを追求してもしかたないかなと思うんです。マンガ的なんだけれども、リアルさを感じる絵にしたいんです

だから、わりと立体であることを意識して原画を描いているので、本当はギャグ的に表情が崩れたキャラクターを描くのは苦手なんですよ。

―― それは、意外ですね。「セーラームーン」で、うさぎたちの崩れた表情のおもしろさといえば、香川さんがイチバンという印象があるんですが。

香川 もっと崩したほうがいいかなとは、思うんです。描いているときには思いっきり崩しているつもりなんですけれど、あとで見るとまだ、やりきれてないなって。

―― でも、今回の映画でも、いろいろと崩れた表情があって楽しかったですよ。

香川 ええ。うさぎが満面の笑みを浮かべるときにも、目尻がなみうってる感じにするとか、らくがき的な感じにしたくて、太いサインペンでグリグリ描く感じを出してみたり、「力がぬけてヘロヘロ」した線で描いてみるとか（笑）、そんな感じで、いろいろと崩し方を考えてやってみました

―― なるほど。最後に映画全体の感想を

香川 個々の絵に関しては、不満が残るところもあるんですけれど、まあ、短いスケジュールでよくやったと思います（笑）。よくあるじゃないですか、プラモデルを作っているあいだは、うまくいかなかったり、めんどうくさかったりするけれど、できあがると嬉しいってことが。そんな感じですね。

原図

原図

▲インタビュー中で話題になった、レイアウトチェックの段階で、香川さんが描いたラフ。このように、おおまかな動きなどを指定したものも少なくない。

よりぬき原画集S

一本のアニメーションをつくるのに、大勢のアニメーターといわれる人が、たくさんの絵をかいていることは知っているよね。映画版『セーラームーンS』も、たくさんの個性的なアニメーターが参加して、できあがったんだ。このページでは、普段は見ることができない、アニメーターのナマの原画を厳選して、お見せしよう。

香川 久

「セーラームーン」のなかでも、そのかわいいキャラクターと、コミカルな表情でファンの多い、香川久さんは作画監督として参加した。今回の映画でも、その実力を発揮し、メインとなったルナや翔のドラマの部分はもちろん、うさぎたちの日常描写も、じつに生き生きと魅力的に描ききった。

▲▶これは、原画ではなく、原画を描くアニメーターに、指示するために、香川さんが描いたラフ。まろやかな表情がグー。

長谷川眞也

テレビ版の作画監督としても活躍している長谷川眞也さん。彼のシャープな描線と艶のあるキャラクターを、支持するファンは多い。今回の映画版には、香川さんのお手伝いとして、作画監督に参加した。前半のスノーダンサーとの戦いや、後半のスノー・カグヤとの戦いなど、戦闘シーンを担当。

▲ロッドをふるう，プルート。長谷川さんの修正原画。

為我井克美

為我井さんは，香川さん，長谷川さんと並ぶ，「セーラームーン」の若手作画監督の1人。今回の映画版では，長谷川さんと同様に，作画監督のお手伝いとして参加。うさぎとレイがケンカするシーンや，ヤキイモを焼くシーンなどの日常芝居で，他のアニメーターの修正を担当した。

▶おなじみのケンカのシーン。為我井さんが描いた修正原画だ。

▶スノー・カグヤと対決する、凜々しいセーラームーンも彼の作画。

越智一裕

ゲーム『コズミックファンタジー』シリーズの原作者としても知られ，アニメスタッフとしても『ハロー！ レディィリン』のキャラクターデザインなどで活躍している越智さん。「セーラームーン」への参加は，今回が初めてだったが，スノー・カグヤとの戦闘シーンの原画の大半を担当し，クライマックスを盛り上げた。

▼かつて，メリハリのきいた動きで，アニメファンを酔わせた越智さんらしいシーンだ。

◀傷ついたジュピター。越智さんらしい表情。

宇佐美皓一

ふだんはアクションものの，ビデオアニメなどに参加することが多い宇佐美さん。今回の映画版では，うさぎと衛が公園でキスするシーンや，ルナがポフリのビンのフタをとろうとするシーンなど，コミカルなシーンの原画を担当。イジケルうさぎの表情がグーだった。

▲◀公園のシーンより，うさぎと衛。うさぎは，わざとらしくイジケてみせるのだった。

オグロアキラ

セーラームーンとセーラーちびムーンが，スノーダンサーと戦うシーンの原画を担当したのがオグロさん。かわいかったちびムーンへのメイクアップも，彼が原画を描いている。ビデオアニメ「間の楔・完結編」の作画監督などで活躍してきたオグロさんも，「セーラームーン」への参加は，この映画版が初めて。

▲親子そろって「おしおきよ！」。

▼かわいい。目が回っちゃった，ちびうさ。

◀オグロさんの担当シーンは，絵柄と動きのシャープさが印象的。

玉川達文

▲光りながら変身していくルナ。作画の凝ったシーンだった。

▶人間の姿になったルナ。髪がゆっくりと流れていく。

作画監督補佐として参加した，玉川さんは，香川さんと同じ，スタジオコクピットに所属するアニメーター。原画としては，ルナが人間に変身するシーンを担当。玉川さんは，テレビの「セーラームーン」には，あまり参加していないが，テレビでいつも使われている亜美の変身の原画を描いたのは彼

▲タイヤキを食べて幸福そうなうさぎ。
▶あきれる，うさぎたちの表情が，とても青山さんらしい。

▶みんなにホメられてテレる，まこと。

青山充

オープニングの原画を担当したのは，「GS美神」「スーパービックリマン」などの作品の，キャラクターデザインで知られるベテランの青山充さんだ。オカルトハウスで占いの道具を見るレイのキメの細かい動きや，パンチングボールを叩く場面のそれぞれの個性が出たアクションなど，オープニングは作画面での見どころが多い

安藤正浩

テレビシリーズの「セーラームーン」でも，丸顔のかわいいキャラクターが印象的な，安藤さん。今回の映画版では，うさぎとルナが，宇宙開拓事業団に姫子に会いにいくシーンなどの原画を担当。映画を見ていて「あっ，安藤さんの絵だ！」と思ったファンもいたことだろう

▲▶安藤さんの描くキャラクターは，かわいらしく優しい感じが特色。ポーズのとりかたにも個性がある。

STAFF LIST

オープニング

製作	高岩淡
	宮原照夫
	(講談社)
	泊懋
原作	武内直子
(講談社「なかよし」連載)	
企画	東伊里弥
製作担当	風間厚徳
脚本	富田祐弘
音楽	有澤孝紀
撮影	高橋基
編集	吉川泰弘
録音	立花康夫
美術監督	窪田忠雄
	橋本和幸
作画監督	香川久
	為我井克美
	長谷川眞也
監督	芝田浩樹

エンディング

声の出演

月野うさぎ	三石琴乃
ルナ	潘恵子
地場衛	古谷徹
アルテミス	高戸靖広
ちびうさ	荒木香恵
火野レイ	富沢美智恵
水野亜美	久川綾
木野まこと	篠原恵美
愛野美奈子	深見梨加
冥王せつな	川島千代子
天王はるか	緒方恵美
海王みちる	勝生真沙子
スノーダンサー	水島由子
スノーダンサー	小野寺麻理子
アナウンサー	麻生智久
アナウンサー	増谷康紀
報道陣	辛野善之
宇宙翔	菊池正美
名夜竹姫子	林原めぐみ
プリンセス・スノー・カグヤ	増山江威子

作画監督補佐

原画

とみながまり

藤沢俊幸

青木康直

福士由紀美

谷藤明子

大島美和

竹内浩志

井上美紀

阿部達也

増田信博

なかしまちゅう

馬場俊子

伊東克修

小菅

越智裕

オクロアキラ

上川達文

西田映里

安藤正浩

動画チェック

動画

吉田政保

勝田ふじよ

山本まゆみ

中村基

背景

制作進行

美術進行

主題歌

「ムーンライト伝説」

作詩 小田佳奈子

作曲 小諸鉄矢

編曲 林有三

歌 桜っ子クラブさくら組

(コロムビアレコード)

「Moonlight Destiny」

作詞 佐藤ありす

作曲 池毅

編曲 戸塚修

歌 朝川ひろこ

(コロムビアレコード)

協力プロダクション

スタジオコクピット

スタジオファイブ

オープロダクション

スタジオリバティー

オフィス・アースワーク

St HAKK

DAST

ムクオスタジオ

EET TOLL

ECHO

ECHO

FAI INTERNATIONAL

TASCO上海

大元動画

三晃プロダクション

スワラ・プロダクション

青二プロダクション

録音スタジオ

タバック

現像

東映化学

公開データ

「美少女戦士セーラームーンS」

封切り日 1994年12月4日

映写方式 ビスタサイズ

上映時間 59分21秒

公開館数 335館 (全国東映邦画系)

同時上映作品 「蒼き伝説シュート!」「おさわがせ!スーパーベビー」

主題歌 Moonlight Destiny

作詞/佐藤ありす 作曲/池毅 編曲/戸塚修 歌/朝川ひろこ

不思議 あなたといると何故
時が優しく流れるの
人気のない 海に夜が 降りてきて最初の星
これは月から届く magic
声にしなくてもわかるの
私達 同じことを 想っているはず
moonlight destiny
いつまでも誰よりも そばにいたいの
この広い宇宙の下で めぐりあえたあなた
moonlight destiny
微笑みも 悲しみも わけあえるねと
胸でそう感じている あなたとなら

不思議 あなたに会ってから
景色 あざやかに見えるの
暗い海 銀の道が 星空へ続いている
これは月がくれた message
どんな約束もいらない
私達 同じ明日を 歩いていけそう
moonlight destiny
遠くても どこまでも 見つめているから
輝いて 照らしていて 今日の夢の続き
moonlight destiny
とまどいも せつなさも 超えていけると
胸はもう信じている あなたとなら

moonlight destiny
いつまでも誰よりも そばにいたいの
この広い宇宙の下で めぐりあえたあなた
moonlight destiny
微笑みも 悲しみも わけあえるねと
胸でそう感じている あなたとなら

もくじ

編集後記

♣ビデオ全盛時代に求められるアニメムックは，ビデオが普及する前のものと，ちがうはずだ。むかしは書籍やポスターというかたちでしか，アニメをコレクションすることはできなかったけれど，いまは，ビデオソフトというかたちで，手軽にアニメをコレクションできる。ビデオソフトを持っている人にとっても価値があるアニメムックとは何だろう？ そんなことを考えながら，この本を作ってみた。意見をきかせてほしいぞい。（セーラームーン研究家のクマさん）

♥今回のピンナップの声優さんの寄せ書きと，イベントルポマンガは，わりと自信作です。ところで，「セーラームーン」の声優さんだけの本って，欲しいと思いません？（如）

◆お待たせしました！ 武内直子先生のオリジナル原作で話題になった，セーラー映画第２弾のアニメアルバムです。原作との対比に重点をおいた構成を心がけました。感想は，編集部までお願いします！（H）

なかよしメディアブックス⑬

（定価はカバーに表示してあります。）

映画　美少女戦士セーラームーンS　メモリアルアルバム

発行　1995年9月5日　第1刷発行

原作　武内直子
発行者　野間佐和子
発行所　株式会社　講談社
〒112-01　東京都文京区音羽2-12-21
電話　編集部　03(5395)3480
　　　販売部　03(5395)3605
印刷所　凸版印刷株式会社
製本所　株式会社　国宝社

編集・構成：クマさん（スタジオ雄）
編集スタッフ：斉藤良一、渡辺謙二、如月みどり
執筆：山本元樹、稲見公仁子、のつぎめいる
　　　原口正宏（リスト制作委員会）
デザイン：テン・グラフィス／間中幸子
　　　小室正彦
　　　荒川　香
　　　荒井奈々
　　　鈴木玲子

☆落丁本・乱丁本は，小社雑誌業務部あてにお送りください。送料当社負担にて，お取りかえいたします。
☆この本についてのお問い合わせは，なかよし編集部あてにお願いします。

ISBN4-06-324563-2(な)

FLY ME TO THE MOON
セル原画／東映動画

今回の映画に出演した
声優さんたちのよせ書きだよ
アフレコ当日に、出演した声優さんに「すきなことを書いてください」とお願いして、コメントを書いてもらったよ。声優さんの写真と名前は71ページをみてね。
ニーのよしかき
運転手
これは名作です
ボクのカワイイ子猫ちゃん達、観てくれたかな？
天王はるか
セーラーウラヌス♥
セーラーネプチューン 海王みちる
「雪の降るある日、せつなさんとはるかと三人で、お茶を飲みました。」
みちるの日記より。
健康第一!!
セーラーヴィーナス
愛野美奈子
大人の僕も見てネ！
宇宙翔
地場衛
タキシード仮面
メリークリスマス&ア・ハッピーニューイヤー♪
ついに出た、出た、やっと出た。♪3年まった、かいあった～♪
姫子
スーパーダンサーズ
あなたのハートをキュルキュルしちゃうゾ
アナウンサー
楽しかったです！
また出たいです！
ルナ
メイク・アップできたゾォ……。
セーラームーン 月野うさぎ
トロ・赤身・たまご・いくら・さより…
…そしてラストは トロ。
おばかー♡
セーラーマーキュリー
水野亜美♡
スーパーダンサーズ
こんなハイテンションな作品はそうないんじゃないでしょうか!!
キュルキュル!!
アナウンサー
さて、次の話題です……
以上、お昼のニュースでした。
アルテミス
セーラーマーズ
火野レイ
セーラープルート
冥王せつな
ちびうさの変身シーン初登場!!どうでしたか？
セーラージュピター
木野まこと
スノーカグヤ
地球という宝石を私の手に……
ルナのとってもかわいい表情がGood♪
とても印象的でした。お友達を是非見に来てね☆
愛すべき地球をあなたの思いどおりにはさせません！
ちびうさ
セーラーちびムーン
"ぼくはいつでも君のそばにいるよ"
て…照れちゃうナ…。
恋だよ、恋！